

令和 8 年第 3 回定例会
一般会計予算決算常任委員会資料
(令和 7 年度一般会計決算審査資料)

令和7年度 一般会計（産業建設分科会）決算審査対象事業

No.	重点	事業名	決算額 (千円)	款	項	目	決算書 ページ	担当課	資料 ページ
38		浄化槽整備推進事業	29,960	4	1	3	256 ~ 259	下水道課	117 ~ 118
39		担い手支援事業	3,757	6	1	3	276 ~ 279	農林水産課	119 ~ 121
40	③	新規就農者支援事業	4,504	6	1	3	276 ~ 279	農林水産課	122 ~ 124
41		多面的機能推進事業	53,611	6	1	4	278 ~ 283	農林水産課	125 ~ 127
42		小規模土地改良助成事業	8,497	6	1	4	278 ~ 283	農林水産課	128 ~ 129
43		有害鳥獣捕獲奨励事業	793	6	2	2	284 ~ 287	農林水産課	130 ~ 131
44		地方バス路線維持対策事業	127,480	7	1	1	292 ~ 297	商工労働課	132 ~ 132
45		地方バス路線維持対策事業（臨時）	2,112	7	1	1	292 ~ 297	商工労働課	133 ~ 133
46		厚狭北部デマンド型交通運営事業	8,225	7	1	1	292 ~ 297	商工労働課	134 ~ 134
47	デジタル化	高泊地区デマンド型交通運営事業	6,024	7	1	1	292 ~ 297	商工労働課	135 ~ 143
48		小規模土木事業	28,158	8	2	1	304 ~ 307	土木課	144 ~ 145
49		市道共和台1号線道路整備事業	7,849	8	2	3	306 ~ 309	土木課	146 ~ 148
50	②	通学路安全対策事業	53,493	8	2	4	310 ~ 313	土木課	149 ~ 152
51	①	河川整備事業	806	8	3	1	312 ~ 313	土木課	153 ~ 154
52	スマエジ	スマイルエイジングパーク事業	2,979	8	5	2	316 ~ 321	都市計画課	155 ~ 158
53		管理施設改修事業	25,541	8	5	2	316 ~ 321	都市計画課	159 ~ 161
54		住宅リフォーム資金助成制度	11,860	8	6	1	322 ~ 327	建築住宅課	162 ~ 162
55		市営住宅改修事業	62,840	8	6	1	322 ~ 327	建築住宅課	163 ~ 165
56		市営住宅建替整備事業	156,148	8	6	2	326 ~ 327	建築住宅課	166 ~ 174

R7年度 事務事業評価シート

38

課・局・室・所(係)

下水道課

管理係

事務事業番号

218050101

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	3	都市基盤		18	水道の安定供給と下水道の充実		5	合併浄化槽の整備	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	1	浄化槽整備推進事業		1	浄化槽整備推進事業				
事業概要	公共下水道事業計画区域外及び農業集落排水整備区域外にある住宅に浄化槽を設置する人に対して補助金を交付する。 令和8年度までに汚水処理の概成を求められている中、令和2、3年度に汚水処理施設整備構想及び公共下水道全体計画の見直しを行い、令和4年度末に公共下水道で整備する区域を縮小した。計画区域から除外された地域については今後、合併処理浄化槽の設置により汚水処理整備を進めていくこととなるため、従来の補助金に上乗せを行うことで汚水処理人口普及率の向上を図る。					対象	浄化槽設置者		
						手段	浄化槽設置者に対する補助金の交付		
						意図	浄化槽の維持管理による快適な生活環境の確保と水質の保全		

事業期間		R2以前 年度 ～ R12以降 年度		予算種別	継続	臨時	会計種別	一般	
		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(決算額)		R8(予算額)	
支出内訳		浄化槽設置整備事業補助金	69,682千円	浄化槽設置整備事業補助金	36,384千円	浄化槽設置整備事業補助金	29,960千円	浄化槽設置整備事業補助金	50,915千円
	合 計		69,682千円		36,384千円		29,960千円		50,915千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金	1/3	20,029千円	1/3	8,566千円	1/3	7,894千円	1/3	14,209千円
	県支出金								
	地方債								
	その他								
	一般財源		49,653千円		27,818千円		22,066千円		36,706千円
	合 計		69,682千円		36,384千円		29,960千円		50,915千円
人工数	人件費	0.50人	2,097千円	0.75人	3,755千円	0.70人	3,236千円		
総経費			71,779千円		40,139千円		33,196千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R5	R6	R7	R8
1	浄化槽設置整備事業補助金の新規交付基数	活動	100基	100基	100基	100基
			92基	54基	43基	
			92.00%	54.00%	43.00%	
2	汚水処理人口普及率	成果	84.7%	85.7%	86.7%	87.7%
			85.7%	86.7%	87.8%	
			101.18%	101.17%	101.27%	
3						

成果	対象者は年々減少しており、令和7年度の交付基数は令和6年度から更に減少した。しかし、現行制度前の令和4年度以前の交付基数と同等程度の交付実績があり、汚水処理人口普及率の目標を上回っている。					
R9年度に向けた課題及び改善策	引き続き事業を実施し、汲み取りや単独浄化槽からの転換を促し、汚水処理人口普及率を向上させる。					
目標達成度	D	R9年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

令和7年度 浄化槽整備推進事業

単位：円

項目	令和7年度決算		備 考
【通常補助】	基数	金 額	国庫補助1/3
5人槽	12	3,984,000	
7人槽	3	1,242,000	
10人槽	0	0	
計	15	5,226,000	
【上乘せ補助】	件数	金 額	国庫補助1/3 + 市費上乘せ
5人槽（上乘せ）	22	11,990,000	
7人槽（上乘せ）	6	4,074,000	
10人槽（上乘せ）	0	0	
計	28	16,064,000	
【転換関連補助】	件数	金 額	国庫補助1/3
単独処理浄化槽処分	4	480,000	
単独処理浄化槽転換に係る配管設置	4	1,200,000	
汲取便槽処分	18	1,590,000	
汲取便槽転換に係る配管設置	18	5,400,000	
計		8,670,000	
【合併処理浄化槽更新補助】	件数	金 額	市費単独
合併浄化槽更新	0	0	
小計	令和7年度 決算額	29,960,000	

【補助基数合計】

項目	基数
5人槽	34
7人槽	9
10人槽	0
単独転換	4
汲取転換	18

【設置件数推移】

年 度	1	2	3	4	5	6	7
基 数	61	45	50	45	92	54	43
単独転換	4	4	5	1	10	6	4
汲取転換	25	19	17	21	51	21	18

※R5～上乘せ補助開始

※R2～単独、R4～汲取・転換に係る処分費＋配管費補助開始

（R5～単独転換の処分費が9万円 → 12万円に増額）

R7年度 事務事業評価シート

39

課・局・室・所(係)

農林水産課

農林係

事務事業番号

224010107

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	24	農林水産業の推進	1	経営体の育成・確保及び経営基盤の強化		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	1	農業生産者支援事業	7	担い手支援事業				政策的
事業概要	担い手の育成・確保を図るため経営発展を目指す認定農業者の農業用機械・施設の導入経費の一部を支援する。 ○補助対象 農産物の生産、農業経営の開始または改善に必要な機械(10万円以上)・施設の取得に要する経費 ○補助金額 事業費の1/2 上限機械50万円・施設100万円 (5年間の認定期間中に1回限り)				対象	認定農業者(令和8年3月末現在62名)		
					手段	機械・施設の整備に要した経費の1/2を補助する。		
					意図	担い手の確保・育成		

事業期間	R4以前	年度	～	R12以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R5(決算額)			R6(決算額)			R7(決算額)			R8(予算額)
支出内訳	担い手支援事業補助金	3,867千円		担い手支援事業補助金	4,976千円		担い手支援事業補助金	3,757千円		担い手支援事業補助金 4,168千円
合計		3,867千円			4,976千円			3,757千円		4,168千円
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	ふるさと支援基金	3,867千円	ふるさと支援基金	4,976千円	ふるさと支援基金	3,757千円	ふるさと支援基金	4,168千円	
	一般財源									
合計		3,867千円			4,976千円			3,757千円		4,168千円
人工数 人件費	0.06人	350千円		0.15人	887千円		0.10人	596千円		
総経費		4,217千円			5,863千円			4,353千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R5	R6	R7	R8
1	交付決定数	成果	10件	10件	10件	10件
			9件	12件	9件	
			90.00%	120.00%	90.00%	
2	認定農業者数	活動	61人	63人	65人	65人
			63人	59人	62人	
			103.28%	93.65%	95.38%	
3						

成果	農業用機械・施設の経費の一部を支援することにより、担い手の育成・確保を行うことができた。					
R9年度に向けた課題及び改善策	認定農業者等の担い手に継続的な農業用機械・施設の経費に対する支援を行うことで育成及び確保を図っていく、担い手の要望に応じていく必要がある。					
目標達成度	B	R9年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

(歳入) 1 9 款 繰入金 1 項 基金繰入金 7 目 ふるさと支援基金繰入金 1 節 ふるさと支援基金繰入金
 (歳出) 6 款 農林水産業費 1 項 農業費 3 目 農業振興費 1 8 節 負担金、補助及び交付金

担い手支援事業

決算額：3,757,000円

【事業内容】

(目的)

・担い手を確保し、及び育成し、担い手への農地の集積を推進することにより、耕作放棄地の解消を図り、優良な農地の保全及び有効活用を図ることを目的に、認定農業者に対し農業用機械又は施設の整備に必要な経費の一部を支援する。

(要件)

- ・認定農業者（令和8年3月末時点62名）
- ・認定を受けた経営改善計画期間内（5年間）において1回限り

(補助対象経費)

- ・経営改善計画に基づく農業用機械・施設の購入費

(補助率)

- ・購入費の1／2（上限額：機械50万円、施設100万円）



交付実績	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
個人 機械	5	1 2	6	8	5
個人 施設	1	0	0	1	1
法人 機械	2	3	3	3	2
法人 施設	1	1	0	0	1

(歳入) 1 9 款 繰入金 1 項 基金繰入金 7 目 ふるさと支援基金繰入金 1 節 ふるさと支援基金繰入金
 (歳出) 6 款 農林水産業費 1 項 農業費 3 目 農業振興費 1 8 節 負担金、補助及び交付金

担い手支援事業

決算額：3,757,000円

【事業内容】

(令和 7 年度交付実績)

法人	施設	プレハブ冷蔵庫	1,000,000円
個人	施設	パイプハウス	745,000円
個人	機械	畦草刈機	150,000円
法人	機械	農業用灌水タイマー	314,000円
個人	機械	トラクター用肥料散布機	116,000円
個人	機械	コンバイン	500,000円
法人	機械	肥料散布機(遠心式)	263,000円
個人	機械	自動操舵システム	500,000円
個人	機械	畝立整形機	169,000円



パイプハウス



コンバイン



肥料散布機(遠心式)

R7年度 事務事業評価シート

40

課・局・室・所(係)

農林水産課

農林係

事務事業番号

224010205

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	4	産業・観光		24	農林水産業の推進		1	経営体の育成・確保及び経営基盤の強化		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	2	新規就業者支援事業		5	新規就農者支援事業			3－(4)		政策的
事業概要	経営の不安定な就農初期段階の新規就農者に対し、農業用機械又は施設等の整備に要する経費の一部を補助し、経営の安定化及び次世代を担う農業者を確保・育成することを目的とする。					対象	認定新規就農者(就農時18歳以上50歳未満の者で、就農後5年以内の者)			
						手段	農業用機械及び施設整備に係る経費の補助。補助率1/2、上限額 機械150万円・施設250万円			
						意図	次世代を担う農業者の確保・育成及び移住促進			

事業期間	R4以前	年度	～	R12以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R5(決算額)			R6(決算額)			R7(決算額)			R8(予算額)
支出内訳	新規就農者支援事業補助金	724千円		新規就農者支援事業補助金	288千円		新規就農者支援事業補助金	4,504千円		新規就農者支援事業補助金 5,263千円
合計		724千円			288千円			4,504千円		5,263千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他					ふるさと支援基金	4,504千円		ふるさと支援基金	5,263千円
	一般財源	724千円			288千円					
合計		724千円			288千円			4,504千円		5,263千円
人工数 人件費	0.10人	583千円		0.22人	1,300千円		0.10人	596千円		
総経費		1,307千円			1,588千円			5,100千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R5	R6	R7	R8
1 補助人数	成果			2人	2人	5人	5人
				2人	1人	4人	
				100.00%	50.00%	80.00%	
2							
3							

成果	令和7年度は認定新規就農者を新たに3名確保し、本事業を活用することができ、経営の安定化及び次世代を担う農業者の育成に寄与した。					
R9年度に向けた課題及び改善策	引き続き新規就農者の確保に努め、本事業の周知を行う。					
目標達成度	B	R9年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

(歳入) 1 9 款 繰入金 1 項 基金繰入金 7 目 ふるさと支援基金繰入金 1 節 ふるさと支援基金繰入金
 (歳出) 6 款 農林水産業費 1 項 農業費 3 目 農業振興費 1 8 節 負担金、補助及び交付金

新規就農者支援事業

決算額：4,504,000円

【事業内容】

(目的)

・経営の安定化並びに次世代を担う農業者の確保及び育成を図るため、経営が不安定な就農初期段階の新規就農者に対する農業用機械若しくは施設の整備又は市内に居住するために必要な住宅の家賃に対する経費の一部を支援する。

(要件)

・認定新規就農者（令和8年3月末時点5名）、認定を受けた青年等就農計画期間内（5年間）

(補助対象経費)

・青年等就農計画に基づく農業用機械・施設の購入費又はリース料
 ・市外から市内の農地にて経営を開始するため、賃貸にて住居を確保し支払う家賃

(補助率)

・購入費の1／2（上限額：機械150万円、施設250万円）
 ・リース料の1／2（上限額：月額5万円、通年・機械150万円、施設250万円）
 ・月額家賃の1／2（上限額：月額2万5千円）



交付実績	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
機械	1	1	0	0	2
施設(リース含む)	2	1	1	0	1
家賃補助	0	0	1	1	1

(歳入) 1 9 款 繰入金 1 項 基金繰入金 7 目 ふるさと支援基金繰入金 1 節 ふるさと支援基金繰入金
 (歳出) 6 款 農林水産業費 1 項 農業費 3 目 農業振興費 1 8 節 負担金、補助及び交付金

新規就農者支援事業

決算額：4,504,000円

【事業内容】

(令和 7 年度交付実績)

家賃補助	月額家賃×12月	288,000円
機械	ドローン	1,500,000円
機械	コンバイン	1,500,000円
施設	パイプハウスほか	1,216,000円



ドローン



コンバイン



パイプハウスほか

R7年度 事務事業評価シート

41

課・局・室・所(係)

農林水産課

耕地係

事務事業番号

213060302

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)					
	2	市民生活・地域づくり・環境・防災			13	自然環境の保全・循環型社会の形成			6	森林・里山環境の保全		
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分		
	3	農地環境保全事業			2	多面的機能推進事業						政策的
事業概要	担い手に集中している水路農道等の維持管理、補修を地域全体で実施することにより、担い手の負担を軽減し、耕作放棄地の発生を防止する。また、農業用施設の更新を行うことで作業環境を改善する。令和5年度末に1組織が活動を終了し、平成30年度に活動を休止した1組織が活動を再開した。今後は活動農用地面積を維持していくことが目標となる。						対象	地域環境を守るための活動組織				
							手段	農用地、水路、農道等の維持管理活動に対し交付金を交付する。				
							意図	地域環境を守るための意識の高揚、耕作放棄地の解消、担い手への農地集積				

事業期間		R4以前	年度	～	R12以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(決算額)		R8(予算額)			
支出内訳		多面的機能支払制度補助金	51,117千円	多面的機能支払制度補助金	49,156千円	多面的機能支払制度補助金	53,158千円	多面的機能支払制度補助金	54,324千円		
		消耗品費	161千円	消耗品費	128千円	消耗品費	165千円	消耗品費	156千円		
		システム利用料	132千円	システム利用料	132千円	システム利用料	132千円	システム利用料	132千円		
		燃料費	90千円	燃料費	75千円	燃料費	33千円	燃料費	95千円		
		償還金	71千円	償還金	8千円	償還金	123千円				
	合 計		51,571千円		49,499千円		53,611千円		54,707千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金										
	県支出金	0.75、1.0	38,720千円	0.75、1.0	37,201千円	0.75、1.0	40,198千円	0.75、1.0	41,125千円		
	地方債										
	その他	返還金	94千円	返還金	11千円	返還金	163千円				
	一般財源	0.25	12,757千円	0.25	12,287千円	0.25	13,250千円	0.25	13,582千円		
	合 計		51,571千円		49,499千円		53,611千円		54,707千円		
人工数 人件費		0.50人	2,505千円	0.62人	2,987千円	0.77人	4,246千円				
総経費			54,076千円		52,486千円		57,857千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R5	R6	R7	R8
1	取組活動組織数	活動		19	18	18	18
				19	18	18	
				100.00%	100.00%	100.00%	
2	農地維持・共同活動農用地面積(ha)	活動		685	670	639	638
				685	639	638	
				100.00%	95.40%	99.80%	
3	長寿命化活動農用地面積(ha)	活動		644	629	602	600
				644	602	600	
				100.00%	95.70%	99.70%	

成果	農地の維持管理、農業施設の老朽化に伴う修繕に対応し成果が出ている。また、担い手の負担軽減と耕作放棄地の発生防止につながった。					
R9年度に向けた課題及び改善策	前年度に比べ、活動組織による田畑の保安全管理が減少している。農業従事者の高齢化や農業振興地域の除外により、対象面積が減少していくことが懸念される。そのため、地域計画等を活用し、活動組織の維持や新規地区の事業参加を推進して行く。					
目標達成度	A	R9年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

○事業内容

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、地域が共同で行う農用地、水路、農道等の地域資源の保全活動を支援する制度。水路農道等の維持管理・補修を地域全体で実施することにより、担い手の負担を軽減し、耕作放棄地の発生を防止する。農業用施設の更新を行うことで、作業環境を改善する。

○交付金の構成

農地維持支払交付金



- ・地域資源の基礎的な保全活動
- ・地域資源の適切な保全管理のための推進活動

(例)施設の点検、年度計画の策定
農道・水路等の草刈等



資源向上支払交付金(共同活動)



- ・施設の軽微な補修
- ・農村環境保全活動
- ・多面的機能の増進を図る活動

(例)水路のひび割れ補修
農用地を活かした景観形成

資源向上支払交付金(長寿命化)

- ・施設の長寿命化のための活動

(例)未舗装農道の舗装、
素掘り水路からの更新等

○対象農用地

- ・農振農用地区域内の農用地
- ・都道府県知事が多面的機能の発揮の観点から必要と認める農用地

○支援対象組織

- ・農業者のみで構成される活動組織
- ・農業者及びその他の者(地域住民、団体など)で構成される活動組織



○交付金を使用できるもの

- 事業計画書に定めた活動に対する以下のような経費に活動可能
- ・活動参加者に対して支払った日当
 - ・資機材の購入費、機械等の借上料
 - ・補修、工事等に係る外注費、事務支援委託費 等

○交付単価

(10a/円)

地目	農地維持	資源向上	
		共同活動	長寿命化
田	3,000	1,800	4,400
畑	2,000	1,080	2,000
草地	250	240	400

多面的機能推進事業

(歳入)16款 県支出金 02項 県補助金 04目 農林水産業費県補助金
(歳出)06款 農林水産業費 01項 農業費 04目 農地総務費

決算額:53,611千円

○18節 負担金 補助及び交付金 多面的機能支払制度補助金

(円)

年度	組織数	取組面積(a)		交付額				負担額		
		農地維持・資源向上	長寿命化	農地維持	資源向上 (共同活動)	資源向上 (長寿命化)	総額	国(1/2)	県(1/4)	市(1/4)
R4	18	60,040	47,737	17,420,100	10,833,288	14,947,023	43,200,411	21,600,205	10,800,102	10,800,104
R5	19	68,511	64,424	19,836,000	12,297,420	18,984,030	51,117,450	25,558,725	12,779,362	12,779,363
R6	18	63,932	60,197	18,496,600	11,169,522	19,490,243	49,156,365	24,578,182	12,289,091	12,289,092
R7	18	63,755	60,027	18,416,500	11,117,070	23,624,593	53,158,163	26,579,081	13,289,540	13,289,542

○10節 需用費 消耗品・燃料品費、13節 使用料及び賃借料 システム利用料

R7実績額

(円)

項目	実績額
消耗品費	165,417
燃料費	33,137
システム利用料	132,000
合計	330,554

○22節 償還金、利子及び割引料 償還金

R7実績額

(円)

対象組織	返還金合計額 歳入(組織→市)	歳出(市→県)		市(1/4)
		国(1/2)	県(1/4)	
7	163,628	81,814	40,907	40,907
		122,721		

R7年度 事務事業評価シート

42

課・局・室・所(係)

農林水産課

耕地係

事務事業番号

224020202

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)				
	4	産業・観光		24	農林水産業の推進		2	生産基盤の整備			
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分		
	2	土地改良事業		2	小規模土地改良助成事業						施設維持管理
事業概要	地元から要望等のあった農業用施設の改修等について、交付要綱に基づき助成金を交付します。						対象	地元農家及び農業用施設。			
							手段	地元が行う農業用施設の改修工事に助成金を交付する。			
							意図	営農の保全及び向上を図る。			

事業期間		R4以前	年度	～	R12以降	年度	予算種別	継続	経常	会計種別	一般	
		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(決算額)		R8(予算額)				
支出内訳		小規模土地改良事業助成金	9,906千円		小規模土地改良事業助成金	9,978千円		小規模土地改良事業助成金	8,497千円		小規模土地改良事業助成金	8,500千円
	合 計		9,906千円			9,978千円			8,497千円			8,500千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金											
	県支出金											
	地方債											
	その他											
	一般財源		9,906千円			9,978千円			8,497千円			8,500千円
	合 計		9,906千円			9,978千円			8,497千円			8,500千円
人工数	人件費	0.10人	583千円		0.15人	887千円		0.45人	2,680千円			
	総経費		10,489千円			10,865千円			11,177千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R5	R6	R7	R8
1 実施件数	活動		11	11	11	11
			11	12	10	
			100.00%	109.00%	91.00%	
2						
3						

成果	待機年数の減少はできていないが、農業用施設の維持管理は実施できている。					
R9年度に向けた課題及び改善策	通常受付の待機年数が2～3年待ちとなっているため、継続的な予算確保、緊急案件が発生した場合には補正にて対応できるよう検討していく。					
目標達成度	B	R9年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

小規模土地改良助成事業（令和3年～令和7年度）実績

（単位：円）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
申請件数	13	11	14	11	4
実施件数	11	13	11	12	10
継続事業	3	1	3	1	1
取 下 げ	1	0	4	1	1
工事費（円）	12,287,000	12,119,019	14,633,600	14,261,260	12,900,300
補助金額（円）	8,337,000	8,217,000	9,906,000	9,978,000	8,497,000
地元負担額（円）	3,950,000	3,902,019	4,727,600	4,283,260	4,403,300
繰越件数	23	22	24	23	17

R7年度 事務事業評価シート

43

課・局・室・所(係)

農林水産課

農林係

事務事業番号

224020505

施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)				小項目(基本事業)			
	4 産業・観光				24	農林水産業の推進			2	生産基盤の整備		
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分		
	5	有害鳥獣対策事業			5	有害鳥獣捕獲奨励事業(臨時分)						政策的
事業概要	有害鳥獣による農作物の被害軽減を目的とした捕獲に対して補助金を交付します。捕獲奨励のため、令和元年度からイノシシの捕獲奨励金の単価について引き上げを行い、令和4年度からヌートリアの捕獲に対しても奨励金の対象とし、被害軽減に努めている。						対象	有害鳥獣対策協議会				
							手段	イノシシ4,000円/頭・シカ5,000円/頭・サル13,000円/匹・ヌートリア2,000円/匹				
							意図	農林産物被害の減少				

事業期間	R4以前	年度	～	R12以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R5(決算額)			R6(決算額)			R7(決算額)			R8(予算額)
支出内訳	有害鳥獣捕獲奨励補助金	1,711千円		有害鳥獣捕獲奨励補助金	1,722千円		有害鳥獣捕獲奨励補助金	793千円		有害鳥獣捕獲奨励補助金 2,312千円
合 計		1,711千円			1,722千円			793千円		2,312千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源	1,711千円			1,722千円			793千円		2,312千円
合 計		1,711千円			1,722千円			793千円		2,312千円
人工数 人件費	0.31人	1,806千円		0.51人	3,015千円		0.43人	2,561千円		
総経費		3,517千円			4,737千円			3,354千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R5	R6	R7	R8
1 捕獲計画数(イノシシ)	成果		700頭	700頭	500頭	500頭
			358頭	387頭	127頭	
			51.14%	55.29%	25.40%	
2 捕獲計画数(シカ)	成果		40頭	40頭	40頭	40頭
			44頭	28頭	57頭	
			110.00%	70.00%	142.50%	
3 捕獲計画数(ヌートリア)	成果		30頭	30頭	30頭	30頭
			23頭	4頭	0	
			76.67%	13.33%	0.00%	

成果	イノシシについては、目標頭数を下回る捕獲であった。シカについては、目標頭数を上回る捕獲をすることができた。ヌートリアについては、捕獲実績がなかった。					
R9年度に向けた課題及び改善策	計画捕獲数と実績の乖離が大きく、さらに担い手の確保も課題である。猟友会と連携して被害情報を収集し、有害鳥獣による被害の軽減を目指す。					
目標達成度	C	R9年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

事業内容

農作物被害等の防止を目的に山陽小野田市内で対象鳥獣を適法に捕獲し、その確認資料（鳥獣の尾）を提出した者に対して奨励金を支給する。

補助単価は右図のとおり。

鳥獣名	補助単価（1頭当たり）	備考
イノシシ	4, 0 0 0円	
シカ	5, 0 0 0円	
サル	1 3, 0 0 0円	
ヌートリア	2, 0 0 0円	令和4年度から補助対象

対象者

- ・市内猟友会員
- ・市内在住者

実績



年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
鳥獣名	頭数	金額	頭数	金額	頭数	金額	頭数	金額	頭数	金額
イノシシ	617	2,468,000	380	1,520,000	358	1,432,000	387	1,548,000	127	508,000
シカ	28	140,000	24	120,000	44	220,000	28	140,000	57	285,000
サル	0	0	1	13,000	1	13,000	2	26,000	0	0
ヌートリア	－	－	24	48,000	23	46,000	4	8,000	0	0
合計	645	2,608,000	429	1,701,000	426	1,711,000	421	1,722,000	184	793,000

R7年度 事務事業評価シート

44

課・局・室・所(係)

商工労働課

公共交通対策室

事務事業番号

219020104

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)				
	3	都市基盤			19	道路・交通網及び港湾施設の充実		2	持続可能な地域公共交通網の形成		
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	1	地域交通推進事業			4	地方バス路線維持対策事業					
事業概要	バス事業者3社に対して補助金を交付し、市民の日常生活に必要なバス路線を維持する。						対象	バス事業者			
							手段	地方バス路線維持費補助金の交付			
							意図	市民の生活交通の維持、充実を図る			

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	経常	会計種別	一般
	R5(決算額)			R6(決算額)			R7(決算額)			R8(予算額)
支出内訳	地方バス路線	156,003千円		地方バス路線	135,782千円		地方バス路線維持費補助金	127,443千円		地方バス路線維持費補助金 137,000千円
	維持費補助金			維持費補助金			用地借上料	38千円		用地借上料 38千円
	用地借上料	38千円		用地借上料	38千円					
合計		156,041千円			135,820千円			127,481千円		137,038千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金	国庫補助								
	県支出金	対象費用の1/2	8,417千円	1/2	5,999千円	山口県バス運行対策事業費補助	4,949千円	山口県バス運行対策事業費補助		7,000千円
	地方債									
	その他									
	一般財源		147,624千円		129,821千円			122,532千円		130,038千円
合計		156,041千円			135,820千円			127,481千円		137,038千円
人工数 人件費	0.15人	874千円		0.15人	887千円		0.04人	238千円		
総経費		156,915千円			136,707千円			127,719千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R5	R6	R7	R8
1	1日当たりのバス利用者数	成果	2,335人	2,335人	2,335人	2,335人
			1,936人	1,948人	1,987人	
			82.91%	83.43%	85.10%	
2						
3						

成果	市民の日常生活に必要なバス路線の維持・充実を図ることができた。					
R9年度に向けた課題及び改善策	バス利用者の利便性の向上に向けた取組を継続的に実施する。また、山口県央連携都市圏域の7市町で連携した運転士の就職フェアの開催等により、公共交通の担い手確保を図る。					
目標達成度	B	R9年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R7年度 事務事業評価シート

45

課・局・室・所(係)

商工労働課

公共交通対策室

事務事業番号

219020107

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	2	持続可能な地域公共交通網の形成	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング
	1	地域交通推進事業	7	地方バス路線維持対策事業(臨時)			政策的
事業概要	バス事業者3社に対して補助金を交付し、市民の日常生活に必要なバス路線を維持する。令和7年度は、市内を運行するバス事業者が、利便性向上を図るため、現在のバス車両にキャッシュレス機器を新たに導入予定であることから、その取組に対し、本市も支援を行う。				対象	バス事業者	
					手段	地方バス路線維持費補助金の交付	
					意図	市民の生活交通の維持、充実を図る	

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R5(決算額)			R6(決算額)			R7(決算額)		R8(予算額)	
支出内訳				地方バス路線			地方バス路線維持費補助金		地方バス路線維持費補助金	8,833千円
				維持費補助金			バス活性化システム整備費補助金	2,112千円		
合計								2,112千円		8,833千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源							2,112千円		8,833千円
合計								2,112千円		8,833千円
人工数 人件費							0.04人	238千円		
総経費								2,350千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R5	R6	R7	R8
1	1日あたりのバス利用者数	成果		2,335人	2,335人	2,335人	2,335人
				1,936人	1948人	1987人	
				82.91%	83.43%	85.10%	
2	バス車両の更新	活動		-	1台	-	-
				-	1台	-	
				-	100.00%	-	
3							

成果	バス利用者の利便性が向上するとともに、運賃支払いの円滑化による乗降時間の短縮や、交通事業者側の現金取扱業務の負担軽減に繋がった。					
R9年度に向けた課題及び改善策	バス利用者の利便性の向上に向けた取組を継続的に実施する。					
目標達成度	B	R9年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R7年度 事務事業評価シート

46

課・局・室・所(係)

商工労働課

公共交通対策室

事務事業番号

219020108

施策体系	大項目(章)				中項目(基本施策)				小項目(基本事業)				
	3 都市基盤				19 道路・交通網及び港湾施設の充実				2 持続可能な地域公共交通網の形成				
	実施計画名			事務事業名					重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	1	地域交通推進事業			8	厚狭北部デマンド型交通運営事業							
事業概要	厚狭北部地域の38自治会の住民を対象に、デマンド型交通(予約型乗合タクシー)を運行し、地域の生活交通手段の確保に努めている。事業の実施にあたっては、定期的に利用者の意見を聴取するなどし、利用促進に努めている。								対象	交通不便者			
									手段	自宅と目的地周辺をつなぐ輸送サービスを実施			
									意図	生活交通の維持 地域公共交通の利用促進			

事業期間			R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	経常	会計種別	一般		
			R5(決算額)				R6(決算額)				R7(決算額)		R8(予算額)	
支出内訳	デマンド型交通		7,333千円	デマンド型交通		8,273千円	デマンド型交通運行業務委託料		8,225千円	デマンド型交通運行業務委託料		9,700千円		
	運行業務委託料			運行業務委託料										
合 計				7,333千円		8,273千円			8,225千円			9,700千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金													
	県支出金													
	地方債													
	その他		デマンド交通運行維持費補助金	1,681千円	デマンド交通運行維持費補助金	1,452千円	デマンド交通運行維持費補助金	1,701千円	デマンド交通運行維持費補助金	1,300千円				
	一般財源			5,652千円		6,821千円		6,524千円		8,400千円				
合 計				7,333千円		8,273千円			8,225千円			9,700千円		
人工数		人件費	0.08人	262千円	0.08人	303千円								
総経費			7,595千円		8,576千円				8,225千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R5	R6	R7	R8
1	一日当たりの乗車人数	活動	20人	21人	22人	22人
			16.5人	14.5人	13.2人	
			82.50%	69.00%	59.10%	
2	一日当たりの稼働率	成果	60%	60%	60%	60%
			54%	55%	52%	
			90.00%	91.66%	86.70%	
3						

成果	厚狭北部地域において、マイカーを自由に利用できない方の交通手段として機能している。					
R9年度に向けた課題及び改善策	対象自治会等への広報活動を行うとともに、交通事業者との意見交換等を実施し、サービスの維持及び向上を目指す。					
目標達成度	C	R9年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R7年度 事務事業評価シート

47

課・局・室・所(係)

商工労働課

公共交通対策室

事務事業番号

219020119

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	3	都市基盤		19	道路・交通網及び港湾施設の充実		2	持続可能な地域公共交通網の形成		
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	地域交通推進事業		19	高泊地区デマンド型交通運営事業				デジタル化		政策的
事業概要	高泊地区においては、コミュニティバス「高畑・高泊循環線」からデマンド型の乗合タクシーへと転換を図り、地域の生活交通手段の確保に努めている。事業の実施にあたっては、定期的に利用者や地域の方の意見を聴取するなどし、利用促進にも努めている。 ※デマンドタクシーは、R4.10月からR5.9月まで実証運行を実施し、その後本格運行(R5.10～)に移行した。						対象	交通不便者		
							手段	高泊地区内に設定した停留所から、目的地をつなぐ運送サービスを実施。		
							意図	生活交通の維持、地域公共交通の利用促進		

事業期間	R4	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	経常	会計種別	一般
	R5(決算額)			R6(決算額)			R7(決算額)			R8(予算額)
支出内訳	デマンド型交通	5,680千円		デマンド型交通	5,928千円	デマンド型交通運行業務委託料	6,000千円		デマンド型交通運行業務委託料	6,200千円
	運行业務委託料			運行业務委託料		印刷製本費	24千円		印刷製本費	55千円
	印刷製本費									
合計		5,680千円			5,928千円		6,024千円			6,255千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他			デマンド交通運行維持費補助金	358千円				デマンド交通運行維持費補助金	400千円
	一般財源	5,680千円			5,570千円		6,024千円			5,855千円
合計		5,680千円			5,928千円		6,024千円			6,255千円
人工数 人件費	0.16人	728千円		0.09人	362千円					
総経費		6,408千円			6,290千円		6,024千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R5	R6	R7	R8
1	一日当たり乗車人数	成果	16人	6人	7人	8人
			6.9人	6.5人	6.4人	
			43.12%	108.33%	91.53%	
2	一日当たり稼働率	成果	60%	30%	30%	30%
			31%	30%	30%	
			51.67%	100.00%	100.00%	
3						

成果	高泊地区において、マイカーを自由に利用できない方の交通手段として機能している。					
R9年度に向けた課題及び改善策	対象自治会等への広報活動を行うとともに、交通事業者との意見交換等を実施し、サービスの維持及び向上を目指す。					
目標達成度	B	R9年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

1 地方バス路線維持対策事業

○地方バス路線維持費補助金

地方バス路線維持費補助金交付要綱に基づき、市内を運行するバス事業者へ補助金を交付する。

・補助額の算定方法

市の補助額＝経常費用－経常収益－国・県補助金

・補助金額（実績）

（単位：千円）

	R 7 決算額
船 鉄	9 5, 7 6 3
サ ン デ ン	2 9, 9 9 5
宇 部 市 営	1, 6 8 5
計	1 2 7, 4 4 3

2 地方バス路線維持対策事業（臨時）

○バス活性化システム整備費補助金

令和 7 年度に市内を運行するバス事業者が、利便性向上を図るため、現在のバス車両にキャッシュレス機器を新たに導入することから、その取組に対して支援を行う。

<補助対象事業者>

船木鉄道株式会社

<補助率>

・国 : 1 / 3

・県 : 1 / 1 2

・市 : 1 / 1 2

※路線が山陽小野田市、宇部市、美祢市に跨るため、実車キロで按分

	R7 年度実車走行キロ	実車走行キロ割合	負担額（実車キロ按分）
山陽小野田市	526, 156. 0	46. 58%	2, 112, 000
宇部市	377, 160. 5	33. 40%	1, 514, 000
美祢市	226, 047. 3	20. 02%	907, 000
合計	1, 129, 363. 8	100. 00%	4, 533, 000

<補助金額>

2, 1 1 2 千円（市負担金額を本市運行距離で按分）

※補助対象経費 5 4, 4 2 2 千円

3 デマンド型交通運営事業

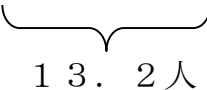
○厚狭北部デマンド型交通運営事業

厚狭北部地域の38自治会の住民を対象に、デマンド型交通（予約型乗合タクシー）を運行する。概要については別添の「殿様号 利用ガイド」、「姫様号 利用ガイド」参照。

○高泊地区デマンド型交通運営事業

「高畑・高泊循環線」のうち「高泊地区路線」を廃止するとともに、同エリアを対象に、タクシー会社によるデマンド型交通を運行中。概要については別添の「とまり号 利用ガイド」参照。

○利用実績等（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

	厚狭北部地区		高泊地区
	殿様号	姫様号	とまり号
運行日数	141日	141日	140日
利用者数	898人	958人	897人
1日当たり利用者数	6.4人	6.8人	6.4人
	 13.2人		
1日当たり稼働率	52%		30%

おでかけガイド

ご利用例① ふだんのお買い物に



ご利用例② バスに乗り継いで市役所や市民病院へ



殿様号 Q&A

- Q1 利用登録をしないと利用できませんか？**
ご利用の前に、必ず利用登録が必要です。登録用紙に、お名前、住所などを記入し、山陽総合事務所もしくは本庁商工労働課に提出してください。登録用紙は、山陽総合事務所か本庁商工労働課に用意していますので、お早めどうぞ。
- Q2 予約をしていたけど、急に利用できなくなっていました。**
予約を取り消す場合は、必ず電話連絡をお願いします。運行の30分前までであれば、変更ができます。0120-497-489へお電話ください。
- Q3 たまたま席が空いていたら、予約していなくても乗れますか？**
乗合タクシーは予約された方だけがご利用になれます。席が空いていても、予約がなければ乗車できません。
- Q4 時刻表が決まっていないので利用ににくいのですが…**
乗合タクシーは予約された場所を回りますので、予約の状況によって到着時刻が変わることがあります。運行事業者へお問い合わせいただければ到着時刻の目安がわかります。
- Q5 ベビーカーや車いすをもって乗車することは可能ですか？**
席に余裕があれば持ち込むことは可能です。ただし、車いすの方は介助される方と同乗をお願いします。
- Q6 買い物したものを載せてほしい**
荷物を載せるスペースには限りがあります。他のお客様のご迷惑にならないようにお願いします。

山陽小野田市デマンド(予約)型乗合タクシー(松ヶ瀬・平沼田・不動寺原線) 殿様号 利用ガイド <令和5年10月～>

殿様号とは？

- ご自宅と厚狭地域中心部（JR厚狭駅周辺、加藤周辺）を結ぶ公共交通です。
- 利用するには、電話予約が必要です。
- 電話予約をいただければ、ご自宅までお迎えに行きます。
※道路状況などによってはご自宅までのお迎えが困難な場合があります。安全に乗降が可能な場所までお迎えに行きます。
- 下記の対象地区にお住まいの方のうち、事前に利用登録をいただければ、どなたでもご利用いただけます。



- | | | | | |
|------|------|--------|--------|------|
| ●柳瀬 | ●奥ノ浴 | ●高の巣 | ●不動寺原東 | ●殿町五 |
| ●赤川 | ●宗末 | ●粕の木 | ●緑ヶ原団地 | ●野中 |
| ●松ヶ瀬 | ●平沼田 | ●石束 | ●厚狭緑ヶ丘 | ●大谷 |
| ●随光 | ●森広 | ●不動寺原西 | ●今市 | ●東下津 |
| | | | | ●迫山 |

ご利用のまえに



まずは、利用登録をお願いします

利用するには利用登録票の提出が必要です。利用登録票を山陽総合事務所と本庁商工労働課に用意していますので、必要事項を書いて山陽総合事務所もしくは本庁商工労働課へご提出ください。登録番号の入った[登録カード]をお渡しします。

ご利用のながれ

- 1 電話する**
0120-497-489へ電話
- 2 予約受付**
予約を受け付けます
- 3 お迎え**
予約された方の自宅へ乗合タクシーがお迎えにうかがいます。
※乗車時に登録カードをご提示ください。
- 4 目的地へ**
降りるときに運賃をお支払いください。手帳交付者は手帳のご提示をお願いします。



殿様号の予約です。●番(登録番号)の●●(氏名)です。殿様号上り2便で〇〇スーパーまでお願いします。



かしこまりました。9時過ぎにご自宅へうかがいます。



※予約を変更したり取り消したいときは、必ずお電話ください。
※帰りの便を同時に予約されると便利です。



殿様号 山陽小野田市デマンド(予約)型乗合タクシー 松ヶ瀬・平沼田・不動寺原線

運行日

月・水・金

祝日と年末年始(12/29~1/3)
は運休します。

運賃

一乗車 **300円**

●1歳~小学生は150円、乳児は無料。

●身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者福祉手帳の交付を受けている者、及びこれらの者を介助する者は150円。

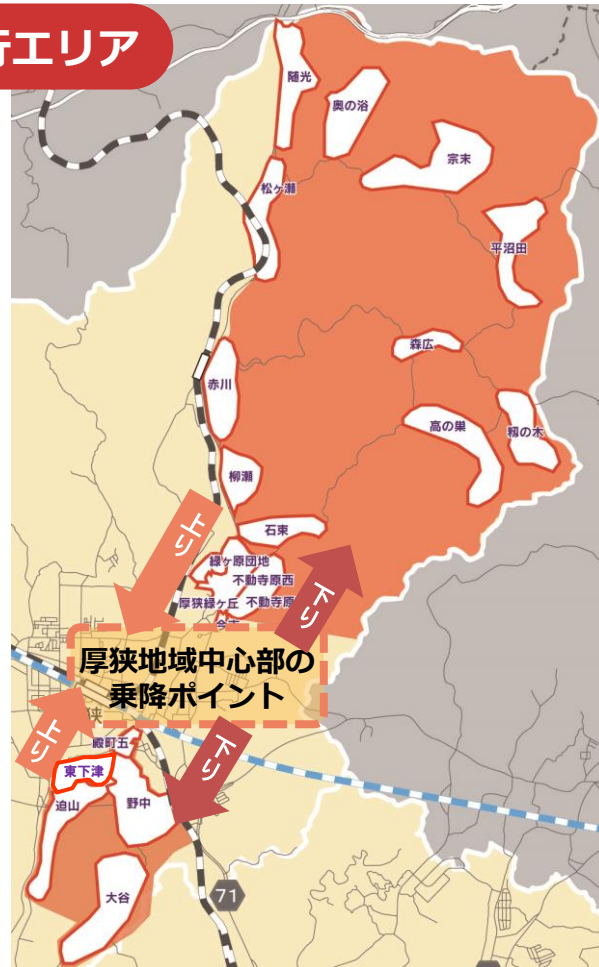
※ご本人様のみでの乗り降りが困難な方は、必ず付添の方と同乗してください。

お得な回数券もどうぞ！



車内で販売します。

運行エリア



対象地域内のご自宅と厚狭中心部の乗降ポイント(右図の24ヶ所)の間を運行します。これ以外の場所では乗降できません。

厚狭地域中心部の乗降ポイント

- | | |
|---------------|-----------------|
| ① 厚狭駅 在来線口 | ⑮ 河野内科 |
| ② 厚狭駅 新幹線口 | ⑯ 河村医院 |
| ③ 厚狭地区複合施設 | ⑰ 久保整形外科医院 |
| ④ 不二輸送機ホール(※) | ⑱ 紫苑リハビリ内科クリニック |
| ⑥ JA山口県厚狭支所 | ⑲ しもかど歯科 |
| ⑦ ウエスタまるき厚狭店 | ⑳ 田中としろう眼科 |
| ⑧ マックスバリュ厚狭店 | ㉑ たみたに内科・循環器科 |
| ⑨ マルキュウ厚狭店 | ㉒ てらい内科クリニック |
| ⑩ 厚狭郵便局 | ㉓ 耳鼻咽喉科伯野医院 |
| ⑪ あさ歯科クリニック | ㉔ はせがわ耳鼻クリニック |
| ⑫ 厚狭セントヒル泌尿器科 | ㉕ 吉武医院 |
| ⑬ あさひクリニック | ㉖ 吉武内科クリニック |

乗降場所標識



このマークが目印です！

各施設の出入口周辺を乗降場所としています。

※ = 山陽小野田市文化会館

時刻表

時刻は目安です。予約状況などにより変わることがあります。

お一人も予約がない場合は、運行しません。

上り				便名	下り			
1便	2便	3便	4便		1便	2便	3便	4便
8:00 締切7:30	9:00 締切8:30	11:30 締切11:00	13:30 締切13:00	柳瀬	↑	↑	↑	↑
				随光				
				粗の木				
				今市				
				厚狭地域 中心部	10:30 締切10:00	12:30 締切12:00	14:30 締切14:00	15:30 締切15:00



予約受付【小野田第一交通株式会社】



0120-497-489

予約は
30分前まで

受付時間は、
あさ7時から
夕方5時までです。



おでかけガイド

ご利用例① ふだんのお買い物に



ご利用例② バスに乗り継いで市役所や市民病院へ



山陽小野田市デマンド(予約)型乗合タクシー Q&A

- Q1 利用登録をしないと利用できませんか？**
- ご利用の前に、必ず利用登録が必要です。登録用紙に、お名前、住所などを記入し、山陽総合事務所もしくは本庁商工労働課に提出してください。登録用紙は、山陽総合事務所か本庁商工労働課に用意していますので、お早めどうぞ。
- Q2 予約をしていたけど、急に利用できなくなっていました。**
- 予約を取り消す場合は、必ず電話連絡をお願いします。運行の30分前までであれば、変更ができます。0120-497-489へお電話ください。
- Q3 たまたま席が空いていたら、予約していなくても乗れますか？**
- 乗合タクシーは予約された方だけがご利用になれます。席が空いていても、予約がなければ乗車できません。
- Q4 時刻表が決まっていないので利用ににくいのですが…**
- 乗合タクシーは予約された場所を回りますので、予約の状況によって到着時刻が変わることがあります。運行事業者へお問い合わせいただければ到着時刻の目安がわかります。
- Q5 ベビーカーや車いすをもって乗車することは可能ですか？**
- 席に余裕があれば持ち込むことは可能です。ただし、車いすの方は介助される方と同乗をお願いします。
- Q6 買い物したものを載せてほしい**
- 荷物を載せるスペースには限りがあります。他のお客様のご迷惑にならないようお願いいたします。

山陽小野田市デマンド(予約)型乗合タクシー(湯の峠・陽光台・山川線) 姫様号 利用ガイド <令和5年10月～>

姫様号とは？

- ご自宅と厚狭地域中心部（JR厚狭駅周辺、加藤周辺）を結ぶ公共交通です。
- 利用するには、電話予約が必要です。
- 電話予約をいただければ、ご自宅までお迎えに行きます。
※道路状況などによってはご自宅までのお迎えが困難場合があります。安全に乗降が可能な場所までお迎えに行きます。
- 下記の対象地区にお住まいの方のうち、事前に利用登録をいただければ、どなたでもご利用いただけます。



- | | | | | | |
|------|-------|------|------|-------|-------|
| ●湯の峠 | ●鴨庄上 | ●陽光台 | ●山川 | ●厚狭平原 | ●山野井北 |
| ●福正寺 | ●西山 | ●野田 | ●松岳畑 | ●片尾畑上 | ●保戸 |
| ●沓山田 | ●鋳物師屋 | ●別府 | ●柏原 | ●片尾畑下 | |

ご利用のまえに

まずは、利用登録をお願いします



利用するには利用登録票の提出が必要です。利用登録票を山陽総合事務所と本庁商工労働課に用意していますので、必要事項を書いて山陽総合事務所もしくは本庁商工労働課へご提出ください。登録番号の入った[登録カード]をお渡しします。

ご利用のながれ

1 電話する 2 予約受付 3 お迎え 4 目的地へ

0120-497-489へ電話

予約を受け付けます

予約された方の自宅へ乗合タクシーがお迎えにうかがいます。
※乗車時に登録カードをご提示ください。

降りるときに運賃をお支払いください。手帳交付者は手帳のご提示をお願いします。



姫様号の予約です。●番(登録番号)の●●(氏名)です。姫様号上り2便で〇〇スーパーまでお願いします。

かしこまりました。9時過ぎにご自宅へうかがいます。

※予約を変更したり取り消したいときは、必ずお電話ください。
※帰りの便を同時に予約されると便利です。

姫様号 山陽小野田市デマンド(予約)型乗合タクシー 湯の峠・陽光台・山川線

運行日

月・水・金

祝日と年末年始(12/29~1/3)
は運休します。

運賃

一乗車 **300円**

●1歳~小学生は150円、乳児は無料。

●身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者福祉手帳の交付を受けている者、及びこれらの者を介助する者は150円。

※ご本人様のみでの乗り降りが困難な方は、必ず付添の方と同乗してください。

お得な回数券もどうぞ！



車内で販売します。

時刻表

時刻は目安です。予約状況などにより変わることがあります。
お一人も予約がない場合は、運行しません。

上り				便名	下り			
1便	2便	3便	4便		1便	2便	3便	4便
8:00 締切7:30	9:00 締切8:30	11:30 締切11:00	13:30 締切13:00	湯の峠	↑	↑	↑	↑
↓	↓	↓	↓	鴨庄上				
				鋳物師屋				
				山川				
				厚狭地域 中心部	10:30 締切10:00	12:30 締切12:00	14:30 締切14:00	15:30 締切15:00

運行エリア



対象地域内のご自宅と厚狭中心部の乗降ポイント(右図の24ヶ所)の間を運行します。これ以外の場所では乗降できません。

厚狭地域中心部の乗降ポイント

- 1 厚狭駅 在来線口
- 2 厚狭駅 新幹線口
- 3 厚狭地区複合施設
- 4 不二輸送機ホール(※)
- 6 JA山形県厚狭支所
- 7 ウエスタまるき厚狭店
- 8 マックスバリュ厚狭店
- 9 マルキュウ厚狭店
- 10 厚狭郵便局
- 11 あさ歯科クリニック
- 12 厚狭セントヒル泌尿器科
- 13 あさひクリニック
- 15 河野内科
- 16 河村医院
- 17 久保整形外科医院
- 18 紫苑リハビリ内科クリニック
- 19 しもかど歯科
- 20 田中としろう眼科
- 21 たみたに内科・循環器科
- 22 てらい内科クリニック
- 23 耳鼻咽喉科伯野医院
- 24 はせがわ耳鼻科クリニック
- 25 吉武医院
- 26 吉武内科クリニック

乗降場所標識



このマークが目印です！

各施設の出入口周辺を乗降場所としています。

※ = 山陽小野田市文化会館



予約受付【小野田第一交通株式会社】



0120-497-489

予約は
30分前まで

受付時間は、
あさ7時から
夕方5時までです。



運行日

月・水・金曜日

※祝日と年末年始（12/29～1/3）は運休します。

運賃

一乗車 **300円**（1名1回あたり）

- 1歳以上～小学生以下は150円、1歳未満は無料。
- 身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方、及びこれらの方を介助する方は150円。

※ご本人様のみでの乗り降りが困難な方は、必ず付添の方と同乗してください。

お得な**回数券**も！（車内で販売します）



300円券 11枚つづり

3,000円

150円券 11枚つづり

1,500円

時刻表

- 9時便～14時便は、上り便(行き)、下り便(帰り)とも同様ですが、**8時便は上り便(行き)のみ、15時便は下り便(帰り)のみ**となります。

- お一人も予約がない場合は運行しません。

便名	8時便 (上り便のみ)	9時便	10時便	11時便	12時便	13時便	14時便	15時便 (下り便のみ)
予約締切	7:30	8:30	9:30	10:30	11:30	12:30	13:30	14:30
運行開始	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00
迎え時刻	乗降地点A	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00
	乗降地点B	～	～	～	～	～	～	～
	乗降地点C	8:15	9:15	10:15	11:15	12:15	13:15	14:15

※予約に応じ、複数の乗降地点を巡回しますので、**運行開始時刻からお迎えまで10～15分お待ちさせることがあります。**あらかじめご了承ください。

お願い

- 通常のタクシーとの混同を避けるため、必ず「**とまり号**」の予約とお伝えください。
- 「とまり号」は乗合制です。他の利用者の迎えが遅延しますので、**各便の運行開始時刻**（9時便の場合は9:00）**には、必ず各乗降地点までおいでください。**
- 予約の変更・取り消しの際は、必ずご連絡ください。
- 下り便（帰り）は、**上り便（行き）とは別に予約が必要です。**買い物や受診等の用事が終了する時間を見越し、早めの予約をお願いします。
- 通常のタクシーと異なり、買い物や受診等の時間中、駐車場にてタクシーを待機させることはできません。
- 診療所は、昼休み時間に休診となり、院内で「とまり号」をお待ちいただくことができない場合がありますのでご注意ください。

142

山陽小野田市デマンド型交通(予約型乗合タクシー) (高泊地区)

『とまり号』利用ガイド 《令和6年3月版》

とまり号とは？

- ご自宅近くの乗り場と目的地（JR小野田駅～国道190号付近のスーパー、医療機関等）を結ぶ「予約型乗合タクシー」です。
- 所定の乗降地点でのみ乗り降りが可能です（詳細は裏面参照）。
- 利用するには、電話等での予約が必要です。

小野田第一交通コールセンター

0120-49-7489

（24時間365日予約受付）

WEB予約
はこちら



区域乗合

車体のこのステッカーが目印です。

ご利用のまえに



まずは、乗降地点の確認をお願いします

とまり号は、裏面の乗降地点でしか乗り降りできません。乗降地点の表示板は、**主に自治会の掲示板やゴミステーション等に掲示**してありますので、事前にご自宅近くの乗降地点の位置をご確認ください。

ご利用のながれ

1 予約する

電話等で予約してください。



「とまり号」の予約です。氏名は●●です。9時便に〇人乗車します。乗降地点▲▲（乗り場）から■（目的地）までお願いします。

2 予約受付

予約を受け付けます。



かしこまりました。9時に乗降地点▲▲へ伺います。予約状況によって、10～15分間お待ちいただきますが、ご了承ください。

3 お迎え

ご指定の乗降地点に「とまり号」が到着します（予約に応じて、複数の乗降地点を巡回します）。



4 目的地へ

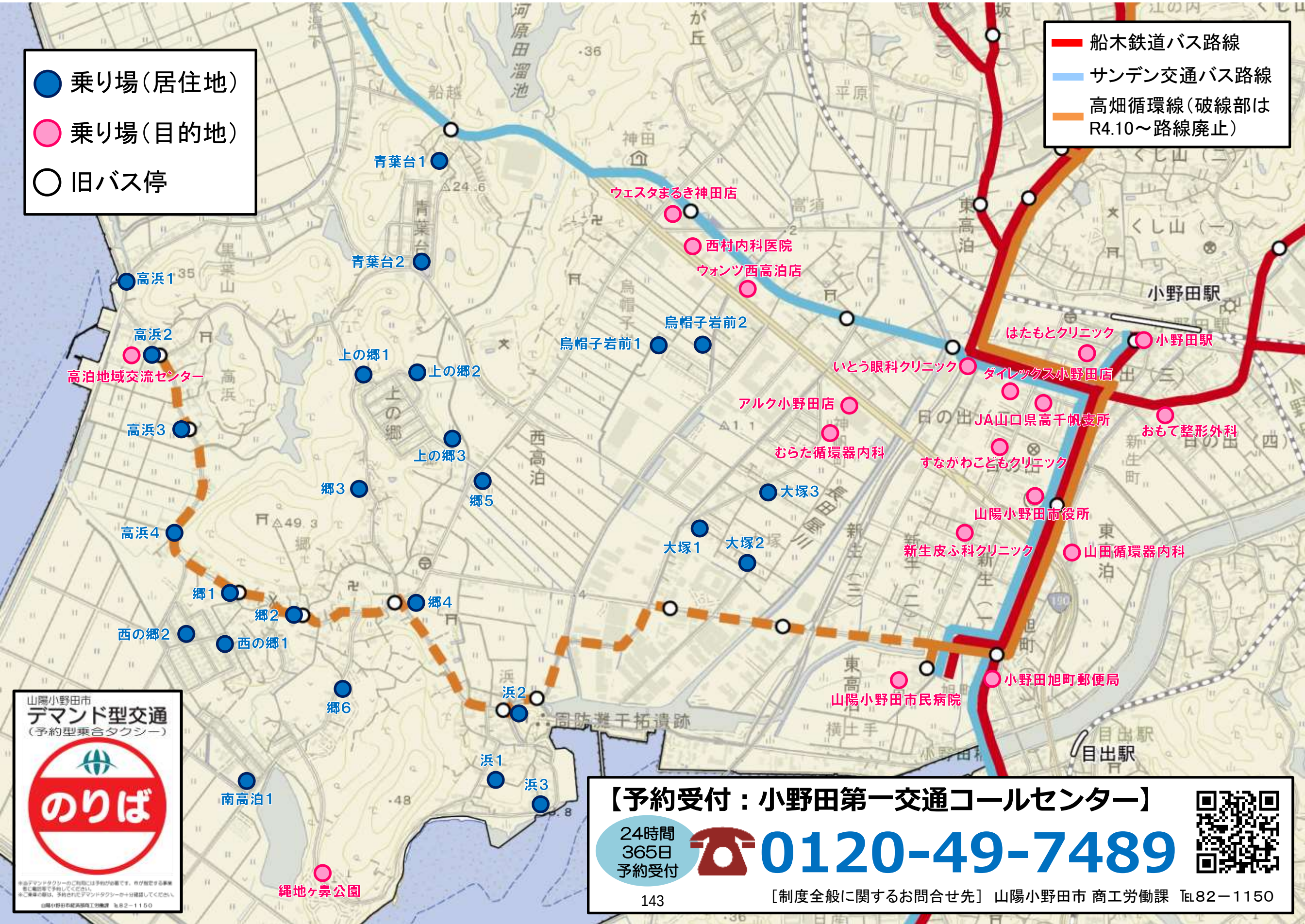
降りる際、運賃をお支払いください。身体障害者手帳等交付者は手帳の提示をお願いします。



「とまり号」乗降地点配置図

- 乗り場(居住地)
- 乗り場(目的地)
- 旧バス停

- 船木鉄道バス路線
- サンデン交通バス路線
- 高畑循環線(破線部はR4.10～路線廃止)



山陽小野田市
デマンド型交通
(予約型乗合タクシー)

のりば

※デマンドタクシーのご利用には予約が必要です。市が指定する乗客
数に超過等で予約してください。
※本乗車の乗客は、予約されたデマンドタクシーが十分稼働してください。
山陽小野田市経済振興課 TEL 82-1150

【予約受付：小野田第一交通コールセンター】

24時間
365日
予約受付

0120-49-7489

143

[制度全般に関するお問合せ先] 山陽小野田市 商工労働課 TEL 82-1150

R7年度 事務事業評価シート

48

課・局・室・所(係)

土木課

管理係

事務事業番号

219010602

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	1	道路網の整備	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング
	6	小規模土木事業	2	小規模土木事業(臨時)			政策的
事業概要	生活に密接する公共性の高い道路、水路等を整備する自治会に助成金を交付する。 事業費限度額:200万円 補助率:70%				対象	市民(自治会)	
					手段	自治会の事業を審査し、補助金を交付	
					意図	市民の生活環境の向上を図る	

事業期間	R2以前	年度	～	R12以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R5(決算額)			R6(決算額)			R7(決算額)			R8(予算額)
支出内訳	小規模土木事業助成金	27,673千円		小規模土木事業助成金	25,299千円		小規模土木事業助成金	28,158千円		小規模土木事業助成金 28,500千円
合計		27,673千円			25,299千円			28,158千円		28,500千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源	27,673千円			25,299千円			28,158千円		28,500千円
合計		27,673千円			25,299千円			28,158千円		28,500千円
人工数 人件費	0.32人	1,864千円		0.27人	1,596千円		0.97人	5,778千円		
総経費		29,537千円			26,895千円			33,936千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R5	R6	R7	R8
1	実施件数(件)	活動		-	-	-	-
				60	46	54	
2	待機件数(件)	活動		-	-	-	-
				39	32	28	
3							

成果	54件の事業に対し補助金を交付し、住民の利便性向上に寄与することが出来た。					
R9年度に向けた課題及び改善策	待機事業が多くならないよう、申請事業を精査し必要な予算を確保していく。					
目標達成度	A	R9年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

48. 小規模土木事業の申請件数、実施件数、工事額及び地元負担額(5年間)(土木課)

年度	申請件数	実施件数	年度末待機件数	工事額(円)	助成額(円)	地元負担額(円)
R3	54件	58件	52件	41,697,370	29,064,000	12,633,370
R4	47件	60件	46件	36,775,050	25,581,000	11,194,050
R5	42件	60件	42件	39,735,470	27,673,000	12,062,470
R6	38件	46件	32件	36,187,763	25,299,000	10,888,763
R7	55件	54件	28件	39,375,227	28,158,000	11,217,227

R7年度 事務事業評価シート

49

課・局・室・所(係)

土木課

道路整備係

事務事業番号

219010505

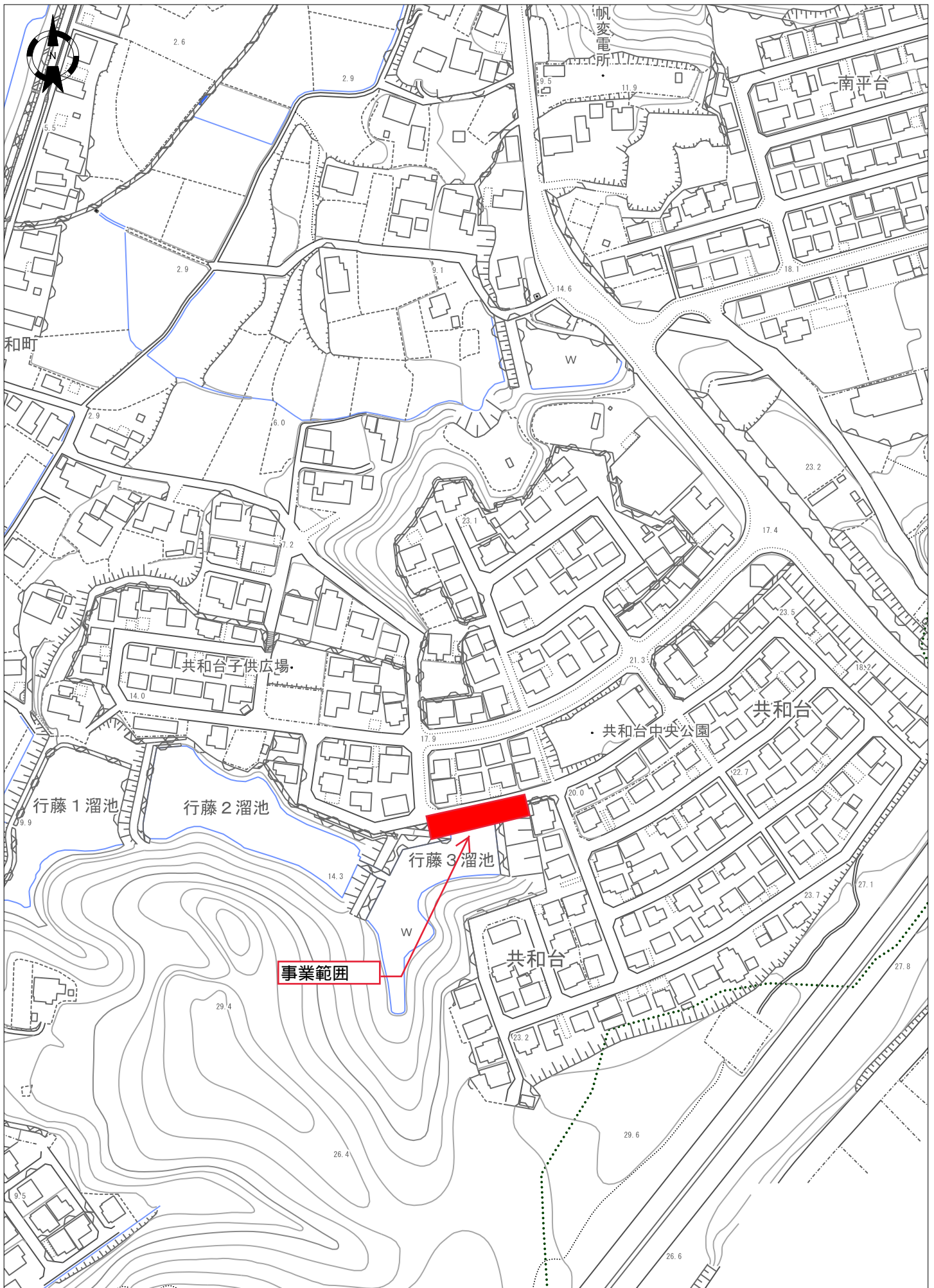
施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	3	都市基盤		19	道路・交通網及び港湾施設の充実		1	道路網の整備	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	5	道路維持補修事業		5	市道共和台1号線道路整備事業				
事業概要	市道共和台1号線は、大型団地内の幹線道路であり過去から一部の区間で道路施設に沈下やひび割れなどの変状が発生している。そのため舗装補修や側溝改修など通常の維持管理については適宜実施してきたが、現在も道路が沈下するなど変状が治まらない傾向にある。また、今後その変状が拡大し市民生活支障を来す恐れがあることから本格的な対策に着手する。					対象	舗装、側溝、附属構造物		
						手段	損傷のある道路施設の改修及び対策工事		
						意図	市道の損傷拡大を防止する		

事業期間	R7 年度	～	R8 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R5(決算額)		R6(決算額)		R7(決算額)		R8(予算額)	
支出内訳					調査設計委託料	7,849千円	工事請負費	50,000千円
合計						7,849千円		50,000千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債				100%	7,800千円	100%	50,000千円
	その他							
	一般財源					49千円		
合計						7,849千円		50,000千円
人工数 人件費					0.32人	1,906千円		
総経費						9,755千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R5	R6	R7	R8
1	道路整備工事	成果			詳細設計 完了 100.00%	工事
2						
3						

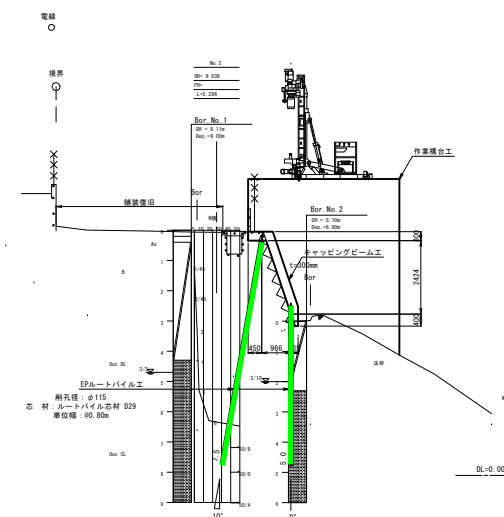
成果	調査設計を実施し、現状確認と詳細設計を完了することが出来た。					
R9年度に向けた課題及び改善策	工事は、R8までとしていたが、工事延長と対策工法から単年度では完了出来ないため、R9までの工事期間とする。					
目標達成度	A	R9年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	①
特記事項						



0

100m

1/2500



工事名	市道共和台1号線地すべり対策工事		
図面名	平面図・標準断面図		
作成年月日			
縮尺		図面番号	
会社名			
事業者名	山陽小野田市		

R7年度 事務事業評価シート

50

課・局・室・所(係)

土木課

道路整備係

事務事業番号

210020401

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	2	市民生活・地域づくり・環境・防災		10	防犯・交通安全・空家等・消費者保護対策の推進		2	交通安全環境の整備	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	4	通学路安全対策事業	1	通学路安全対策事業		2ー(1)			政策的
事業概要	通学路の中には交通量が多く、歩道が設置されていない市道や、歩道が狭い市道があるため、道路管理者と学校・保護者・警察等が連携して安全対策を行う。 歩道の設置されていない等の危険箇所について、路側帯の整備や歩道の拡幅を行い通学路の安全向上を図る。					対象	自転車、歩行者(児童・生徒)		
						手段	路側帯及び、歩道、車道の整備 (路肩の拡幅、歩道の設置、カラー舗装化、歩道整備、側溝の蓋かけ)		
						意図	通学路の安全環境向上		

事業期間		R2以前 年度 ～ R12以降 年度		予算種別	継続	臨時	会計種別	一般	
		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(決算額)		R8(予算額)	
支出内訳		調査設計委託料(現)	4,100千円	工事請負費	23,875千円	工事請負費	46,475千円	工事請負費	29,000千円
		工事請負費(現)	14,164千円	用地購入費	6,243千円	補償費	千円	補償費	13,000千円
		工事請負費(繰)	23,128千円	調査設計委託料	3,398千円	調査設計委託料	千円	調査設計委託料	9,000千円
				工事請負費(繰)	3,174千円	用地購入費	3,938千円	用地購入費	7,000千円
				調査設計委託料(繰)	9,870千円	(単独)工事、用地、設計	3,080千円	工事請負費(単独)	3,000千円
		13,114千円		17,806千円			千円		
		R5からR6へ繰越		R6からR7へ繰越					
	合 計		41,391千円		46,560千円		53,493千円		61,000千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金	55%	22,521千円	55%	24,922千円	55%	27,726千円	55%	31,900千円
	県支出金								
	地方債	90%	16,300千円	90%	18,300千円	90%	20,200千円	90%	26,100千円
	その他								
	一般財源		2,570千円		3,338千円		5,567千円		3,000千円
	合 計		41,391千円		46,560千円		53,493千円		61,000千円
人工数 人件費		0.67人	3,903千円	0.62人	3,665千円	1.32人	7,863千円		
総経費			45,294千円		50,225千円		61,356千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R5	R6	R7	R8
1	路側帯等整備延長(m)	活動		80	80	165	整備延長
				80	80	165	
				100.00%	100.00%	100.00%	
2							
3							

成果	路側帯の整備や歩道拡幅を行い、通学路の安全を図ることが出来た。					
R9年度に向けた課題及び改善策	令和8年度予算にて事業用地買収予定に伴う事業の推進に対応するには予算不足であるため、コスト拡大していく必要がある。 要望箇所が多く残っているため、継続して事業を実施していく必要がある。					
目標達成度	A	R9年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	①
特記事項						



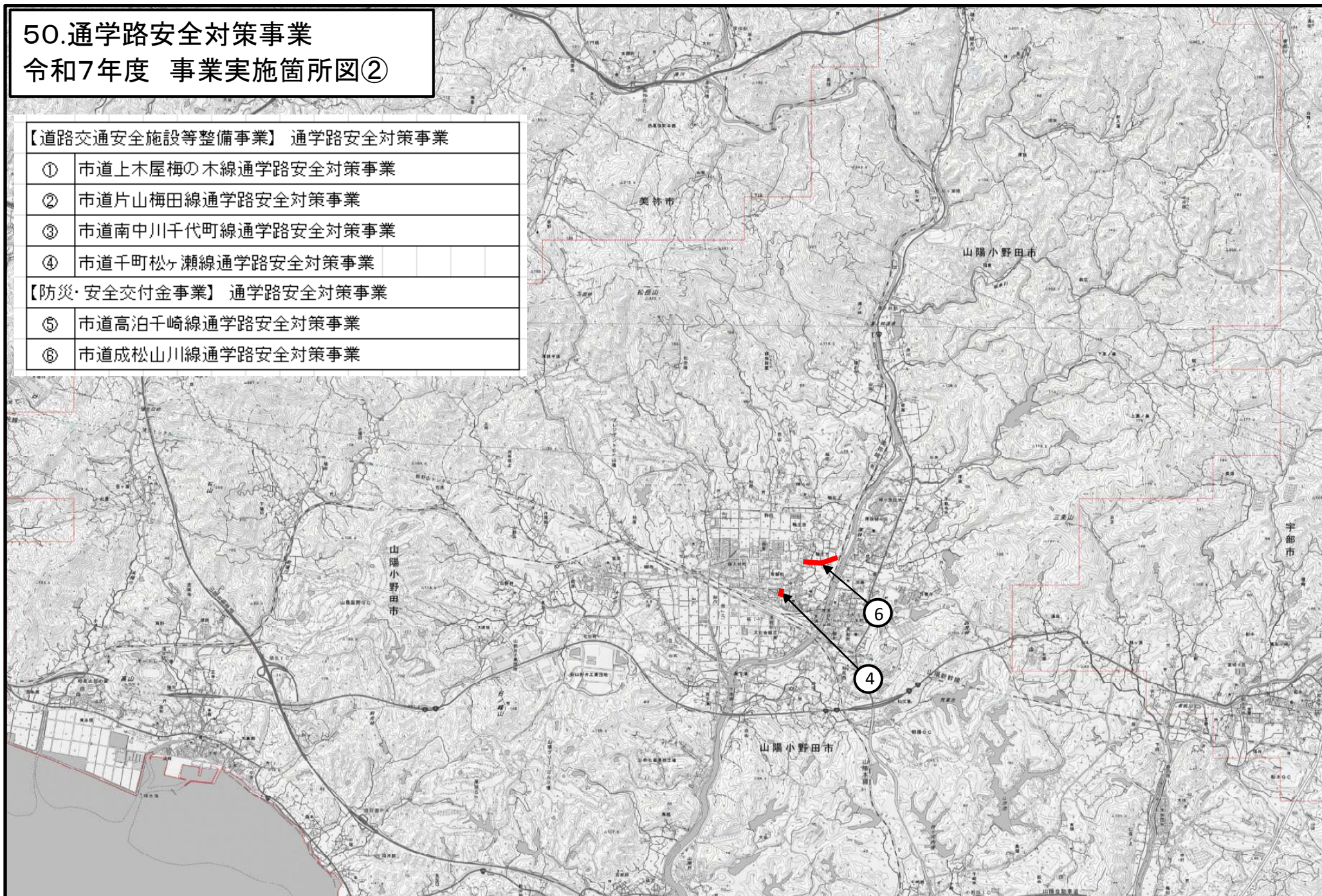
50.通学路安全対策事業 令和7年度 事業実施箇所図②

【道路交通安全施設等整備事業】 通学路安全対策事業

- ① 市道上木屋梅の木線通学路安全対策事業
- ② 市道片山梅田線通学路安全対策事業
- ③ 市道南中川千代町線通学路安全対策事業
- ④ 市道千町松ヶ瀬線通学路安全対策事業

【防災・安全交付金事業】 通学路安全対策事業

- ⑤ 市道高泊千崎線通学路安全対策事業
- ⑥ 市道成松山川線通学路安全対策事業



【令和7年度 通学路安全対策事業】

現地状況写真

① 市道上木屋梅の木線通学路安全対策事業:工事



⑤ 市道高泊千崎線通学路安全対策事業:工事



② 市道片山梅田線通学路安全対策事業:工事



⑥ 市道成松山川線通学路安全対策事業:用地購入、工事



③ 市道南中川千代町線通学路安全対策事業:工事



R7年度 事務事業評価シート

51

課・局・室・所(係)

土木課

河川港湾係

事務事業番号

209030902

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	2	市民生活・地域づくり・環境・防災		9	防災体制の充実		3	市域の保全		
	実施計画名			事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	9	小規模河川保全事業		2	河川整備事業		1ー(2)			施設維持管理
事業概要	境川は、上流の埴生山溜池にその源を発し、山間を南西に流下し瀬戸内海に注ぐ流路約1.0kmの普通河川である。流域の土地利用は、大部分が山林で、下流部の平地には農地が広がり、国道190号沿いに民家が集中している。また、上流域の開発、山陽自動車道、国道など土地利用状況が変化している。									
	当該河川は、未整備区間が複数点在しており、過去にも災害復旧を実施するなど被災履歴を有する。なお、台風や集中豪雨などによる河川堤防の越水も報告されており、河川整備が望まれている。 このような状況から、未整備区間の護岸を整備し治水安全度の向上を図る。						対象	普通河川境川		
							手段	護岸整備		
							意図	環境保全、防災		

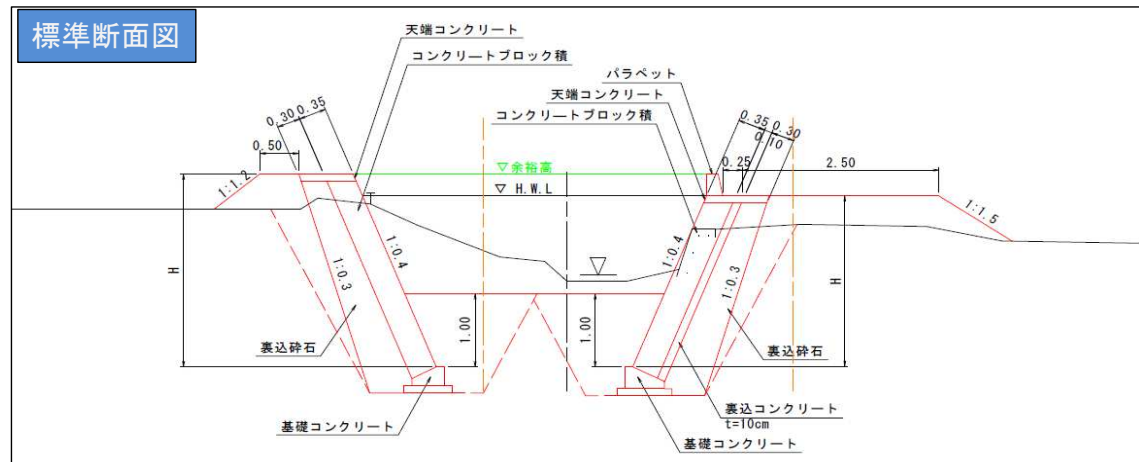
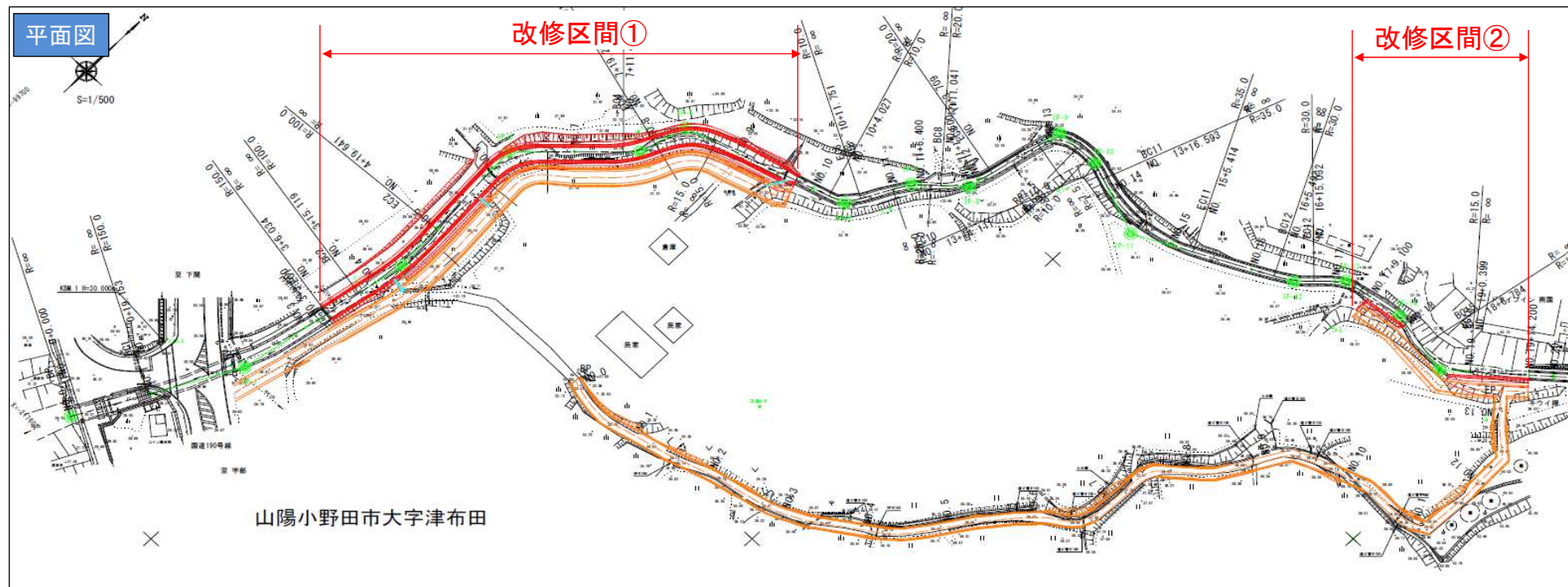
事業期間	R5	年度	～	R9	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R5(決算額)			R6(決算額)			R7(決算額)			R8(予算額)
支出内訳				調査設計委託料	9,123千円		用地購入費	806千円	工事請負費	22,000千円
									用地購入費	2,000千円
合計						9,123千円			806千円	24,000千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債			100%	9,100千円	100%		800千円	100%	24,000千円
	その他									
	一般財源				23千円			6千円		
合計						9,123千円			806千円	24,000千円
人工数 人件費	0.11人	641千円		0.23人	1,360千円		0.37人	2,204千円		
総経費			641千円			10,483千円			3,010千円	

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R5	R6	R7	R8
1	設計・工事	活動	基本設計	詳細設計	用地補償	工事、用地補償
			完了	完了	実施中	
			100.00%	100.00%	31.51%	
2						
3						

成果	工事に必要な用地取得を進めたが、一部用地については抵当権が設定されており、事務処理が困難な状況となった。					
R9年度に向けた課題及び改善策	工事着手に向けて引き続き残りの用地を取得するため、土地所有者へ抵当権の解除をお願いする。また、用地買収に関し調査や協議を要したため、R10まで事業期間を延伸する。					
目標達成度	B	R9年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項	用地取得に関する事務処理において、手続き上の要因が売り手側にあることから目標達成度をBとした。					

51. 普通河川境川河川整備事業



用地取得率	
取得予定面積	451.60m ²
取得済面積(R7年度末)	142.32m ²
※取得率:31.51%	

R7年度 事務事業評価シート

52

課・局・室・所(係)

都市計画課

都市整備係

事務事業番号

217010208

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	3	都市基盤	17	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備と管理	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	事業区分
事業概要	2	都市公園施設整備事業	8	スマイルエイジングパーク事業			政策的
	健康寿命の延伸を目指すスマイルエイジング事業の一環として、市内の4か所の都市公園等でウォーキングコースの園路改修や健康遊具の設置を進め、市民の運動習慣を促すための環境整備を行います。令和4年度からは糸根公園と青年の家が立地する区域を「スマイルエイジングパーク」として、一体的に整備する方針で進めています。また、令和7年度には、本事業の整備効果を算出するため、費用対効果分析を実施します。				対象	須恵健康公園、江汐公園、糸根公園、厚狭川河畔寝太郎公園ゆめ広場	
					手段	健康遊具の設置及びウォーキング用園路の改修、糸根公園の再整備	
					意図	運動習慣のきっかけづくりと健康寿命の延伸	

事業期間	R4以前	年度	～	R12以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R5(決算額)			R6(決算額)			R7(決算額)			R8(予算額)
支出内訳				測量調査委託料	30,804千円	調査委託料(費用対効果分析)	2,924千円			
				普通旅費	83千円	普通旅費	55千円			
合計					30,887千円		2,979千円			
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他			まちづくり魅力基金	30,800千円	まちづくり魅力基金	2,924千円			
	一般財源				87千円		55千円			
合計					30,887千円		2,979千円			
人工数 人件費	0.00人		千円	0.45人	2,660千円	0.55人	3,276千円			
総経費					33,547千円		6,255千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標				R5	R6	R7	R8
1	糸根公園整備事業 業務委託(測量・調査・設計) 工事	活動			用地測量 1 100.00%	費用対効果分析 1 100.00%	基本設計
2							
3							

成果	公園整備にあたっては、防衛省所管の民生安定施設助成事業の活用を見込んでいるが、補助採択の前提となる公園整備の費用便益分析を実施した。					
R9年度に向けた課題及び改善策	糸根公園の整備内容を再精査し、引き続き防衛省との協議を継続する。					
目標達成度	A	R9年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

スマイルエイジングパーク事業（糸根公園整備事業）について

都市計画課

1. スマイルエイジングパーク事業概要

健康寿命の延伸を目指し、市民が運動を始めやすく、またその習慣を継続しやすい環境を整えることを目指して事業を行っており、R4 年から糸根公園の再整備事業に着手している。

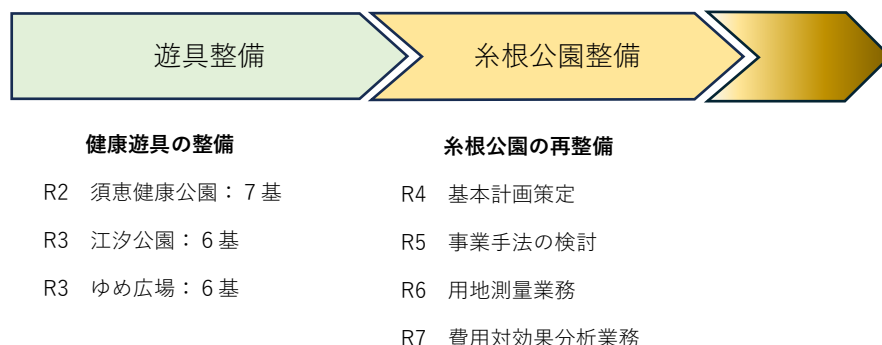


図 1 糸根公園整備事業イメージ図



2. 費用対効果分析について

糸根公園整備事業の効果を定量的に評価するため、費用対効果分析を実施した。費用対効果分析は投資に対する効果を明確にするもので、防衛省の「民生安定施設助成事業」など、国の補助金を活用する際には、費用対効果、いわゆる B/C が「1. 0 以上」であることが採択の基準となる。

3. B/C の算出方法

「小規模公園費用対効果分析手法マニュアル（国土交通省 都市局 公園緑地・景観課）」に基づき、以下の方法で算出した。

総便益（効用関数法）

$$\text{費用便益比 (CBR)} = \frac{\text{総便益 (効用関数法)}}{\text{総費用 (用地費 + 施設整備費 + 維持管理費)}}$$

総便益

- 公園の価値を世帯ベースで計測
- 3種類の価値（利用・環境・防災）別に、整備対象とする公園からの距離に応じた世帯の支払意思額を算出
- 単年度便益を算出し、期間評価中（50年）の単年度便益の総和を求め、その現在価値を総便益とする。（社会的割引率4%を考慮）

総費用

- 用地費・・・用地取得及び補償費
- 施設費・・・建設費
- 維持管理費・・・共用年次から50年間

評価期間中（50年間）の費用の総和を求め、その現在価値を総費用とする。（社会的割引率4%を考慮）

4. B/C の算出結果

表1 費用対効果分析結果（系根公園 6km圏内で算出）

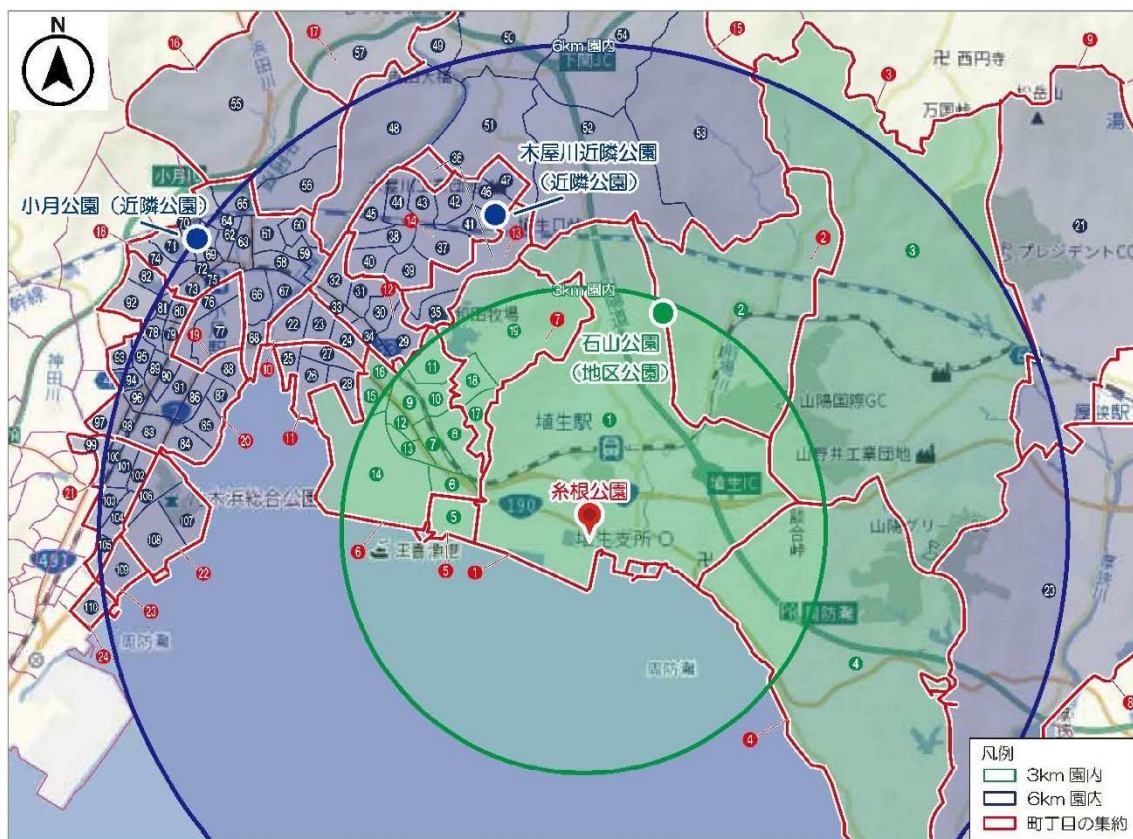
項目	便益 B (億円)	費用 C (億円)	B/C
① 事業全体（参考）	6.4	51.4	0.12
② 公園施設	5.3	14.0	0.38
③ 屋外運動施設	4.2	8.5	0.49

表2 費用対効果分析結果（系根公園 3km圏内で算出）

項目	便益 B (億円)	費用 C (億円)	B/C
① 事業全体（参考）	2.3	51.4	0.04
② 公園施設	1.9	14.0	0.14
③ 屋外運動施設	1.5	8.5	0.17

5. 系根公園周辺の既存公園の配置状況（B/C算定時に考慮）

図2 既存公園の配置状況図（近隣公園、地区公園）



6. 今後の整備方針

糸根公園整備事業について、検討した全てのケースにおいて、費用対効果は補助金の採択基準である「1.0」を下回る結果となった。このため、現状では、公園施設や屋外運動施設について、この補助金を活用することは困難な状況にある。

しかしながら、体育館の整備については、防衛省から別の手法で費用対効果の評価を行うことが可能との見解をいただいている。

こうした状況を踏まえ、体育館の整備については、実現の可能性を探るため、整備内容を精査し、引き続き、防衛省と協議を重ねていく。

また、公園施設や屋外運動施設についても、整備内容の再検討による事業費のコストダウンを図りつつ、防衛省や他省庁の交付金の活用を検討していく。

R7年度 事務事業評価シート

53

課・局・室・所(係)

都市計画課

管理緑地係

事務事業番号

217010203

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	3 都市基盤			17	公園・緑地の整備・保全		1	都市公園の整備と管理		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	2	都市公園施設整備事業		3	管理施設改修事業					政策的
事業概要	都市公園内にある管理施設について、長寿命化を図るための改修等を行う。 【3月補正】 江汐公園外灯更新工事における工事請負費について、事業費が確定したため、減額補正を行うもの。					対象	都市公園内の管理施設			
						手段	施設の改修			
						意図	公園の利用促進を図る			

事業期間	R4	年度	～	R11	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R5(決算額)			R6(決算額)			R7(決算額)			R8(予算額)
支出内訳	江汐公園外灯改修			工事請負費	9,307千円		工事請負費	22,466千円		
	工事請負費	735千円		備品購入費	1,687千円		物品購入費	171千円		
							備品購入(繰)	2,904千円		
合計		735千円			10,994千円			25,541千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債			脱炭素化推進事業債・緊防債	9,800千円		脱炭素化推進事業債・緊防債	23,100千円		
	その他	江汐公園施設整備基金	735千円							
	一般財源				1,194千円			2,441千円		
合計		735千円			10,994千円			25,541千円		
人工数 人件費	0.05人	471千円		0.50人	3,320千円		0.45人	2,314千円		
総経費		1,206千円			14,314千円			27,855千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

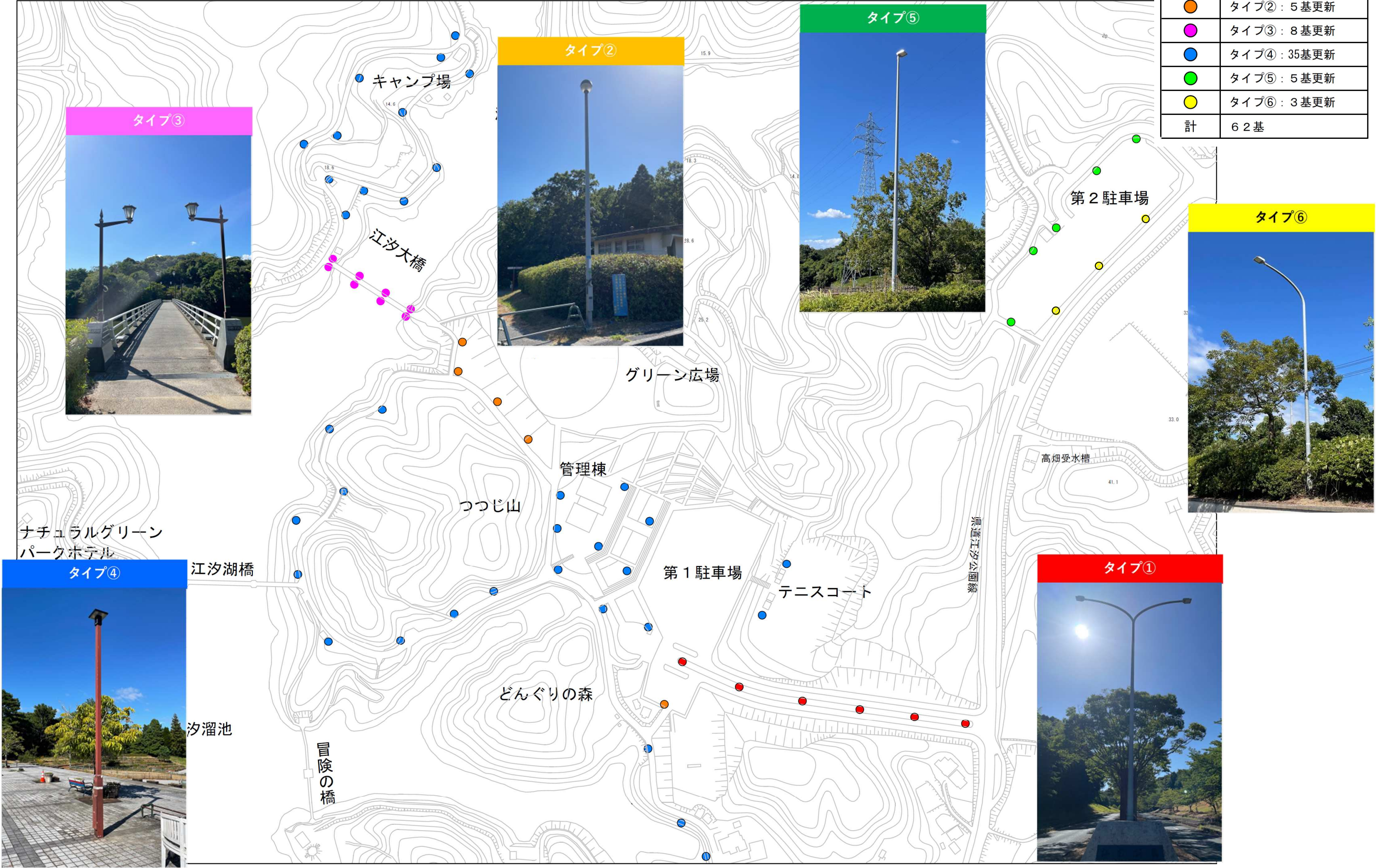
活動指標又は成果指標			R5	R6	R7	R8
1	完了施設数	活動	1	2	3	
			1	2	3	
			100.00%	100.00%	100.00%	
2						
3						

成果	避難が長期化した際に開設される「広域避難所」である江汐公園の外灯について、LED改修および、エアコンの設置を行うとともに老朽化した審判台の更新を行った。これにより安全性の確保や利便性の向上を図ることができた。					
R9年度に向けた課題及び改善策	都市公園にある管理施設は老朽化が進行しており、長寿命化対策が急務となっています。しかし、全施設を同時に改修することは予算・人員の面で現実的に困難です。そのため、各施設の安全性と利用状況を踏まえ、計画的に管理施設の改修を進めてまいります。					
目標達成度	A	R9年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項	繰越金 R6→R7江汐公園管理棟エアコン購入 2,904千円(緊急防災・減災事業債を充当)					

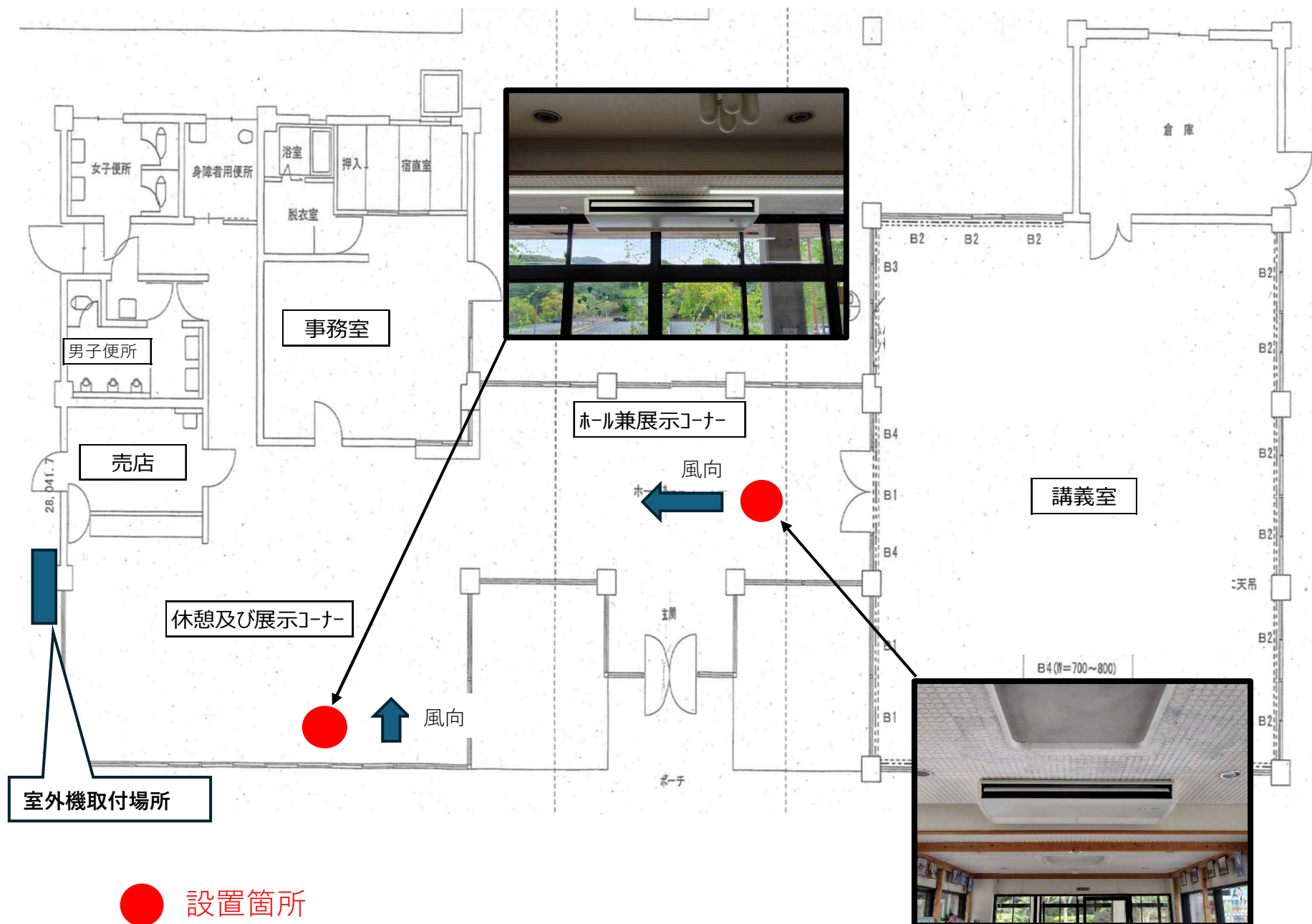
管理施設改修事業（江汐公園照明更新）

凡 例

●	タイプ①：6基更新
●	タイプ②：5基更新
●	タイプ③：8基更新
●	タイプ④：35基更新
●	タイプ⑤：5基更新
●	タイプ⑥：3基更新
計	62基



江汐公園エアコン設置位置図



R7年度 事務事業評価シート

54

課・局・室・所(係)

建築住宅課

建築係

事務事業番号

216010201

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	3 都市基盤			16	住環境の確保		1	住宅整備の支援		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分	
	2	住宅リフォーム助成事業		1	住宅リフォーム資金助成制度					政策的
事業概要	リフォームを行う民間住宅の所有者に対し、山陽小野田市住宅リフォーム資金助成金交付要綱に基づき助成金を支給する。助成金の額は工事費の10%、限度額7万円で、市内業者の施工によるものに限る。						対象	自らが居住する家屋のリフォーム工事を行う家屋の所有者		
							手段	市広報紙等で広く募集し、工事完了後、助成金を支給する。		
							意図	地域経済の活性化と住環境の向上		

事業期間	R4以前	年度	～	R12以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R5(決算額)			R6(決算額)			R7(決算額)			R8(予算額)
支出内訳	住宅リフォーム助成金	9,950千円		住宅リフォーム助成金	9,910千円		住宅リフォーム助成金	11,860千円		住宅リフォーム助成金 12,000千円
合計		9,950千円			9,910千円			11,860千円		12,000千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源	9,950千円			9,910千円			11,860千円		12,000千円
合計		9,950千円			9,910千円			11,860千円		12,000千円
人工数 人件費	0.55人	2,261千円		0.50人	2,209千円		0.45人	1,925千円		
総経費		12,211千円			12,119千円			13,785千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R5	R6	R7	R8
1 助成金額	活動		10,000,000円	10,000,000円	12,000,000円	12,000,000円
			9,950,000円	9,910,000	11,860,000円	
			99.50%	99.10%	98.83%	
2 助成件数	活動		—	—	—	—
			180件	177件	209件	
			—	—		
3						

成果	地域経済の活性化と住環境の向上に繋がっている。					
R9年度に向けた課題及び改善策	特になし。					
目標達成度	B	R9年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R7年度 事務事業評価シート

55

課・局・室・所(係)

建築住宅課

住宅管理係

事務事業番号

216020304

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	3	都市基盤		16	住環境の確保		2	市営住宅の適正管理	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	3	市営住宅長寿命化事業	4	市営住宅改修事業					政策的
事業概要	令和3年度策定の山陽小野田市市営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅の安全性の確保、劣化の低減、耐久性及び居住性の向上等のため改善事業を計画的に実施し、適正な維持管理を行い長寿命化を図る。 なお、決算を見込んで3月議会において予算を補正した。					対象	長寿命化計画において改善事業の対象である市営住宅		
						手段	改善事業の実施		
						意図	市営住宅の安全性の確保、劣化の低減、耐久性及び居住性の向上等のため改善事業を計画的に実施し、適正な維持管理を行い長寿命		

事業期間		R5年度 ～ R10以降年度		予算種別	継続	臨時	会計種別	一般	
		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(決算額)		R8(予算額)	
支出内訳		工事請負費	77,517千円	工事請負費	60,170千円	工事請負費	61,248千円	工事請負費	111,200千円
		設計委託料	12,781千円	設計委託料	10,329千円	手数料	194千円		
		地質調査委託料	6,325千円			汚泥引抜清掃委託料	1,398千円		
	合 計		96,623千円		70,499千円		62,840千円		111,200千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金	1/2	42,583千円	1/2	18,640千円	1/2	21,383千円	1/2	51,029千円
	県支出金								
	地方債	100%	53,700千円	100%	51,800千円	100%	41,200千円	100%	60,100千円
	その他								
	一般財源		340千円		59千円		257千円		71千円
	合 計		96,623千円		70,499千円		62,840千円		111,200千円
人工数 人件費		1.48人	8,622千円	1.01人	5,970千円	0.28人	1,668千円		
総経費			105,245千円		76,469千円		64,508千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R5	R6	R7	R8
1	改善事業の実施	活動	屋上防水工事等	給排水施設改修等	給排水施設改修等	外壁改修工事等
			完了	完了	完了	
			100.00%	100.00%	100.00%	
2						
3						

成果	有帆船地B棟単独浄化槽解消・給水改修工事を完了したことで安全性の確保、劣化の低減、耐久性及び居住性の向上等に寄与すると共に長寿命化に繋がっている。					
R9年度に向けた課題及び改善策	事業の実施に当たり、社会資本整備総合交付金を確保する必要がある。					
目標達成度	A	R9年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

件名：有帆団地B棟単独浄化槽解消・給水改修工事

場所：山陽小野田市新有帆町898番1号 地内

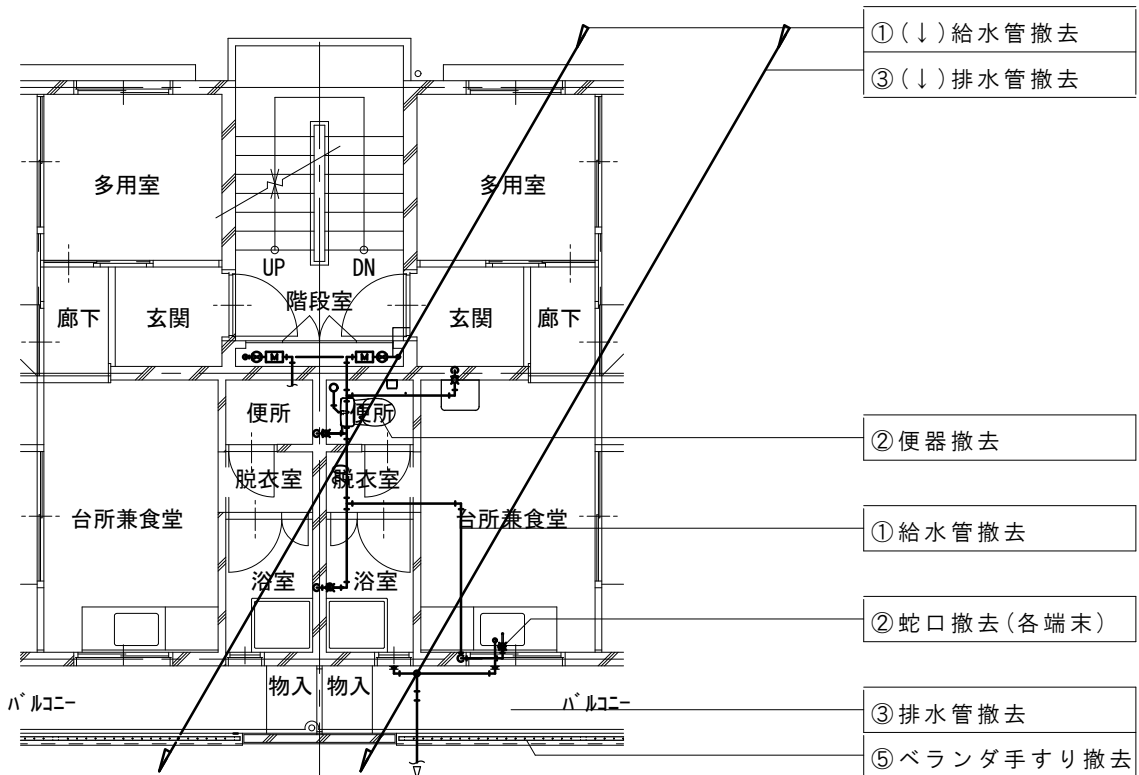
工期：令和7年9月8日～令和8年3月30日

建物概要

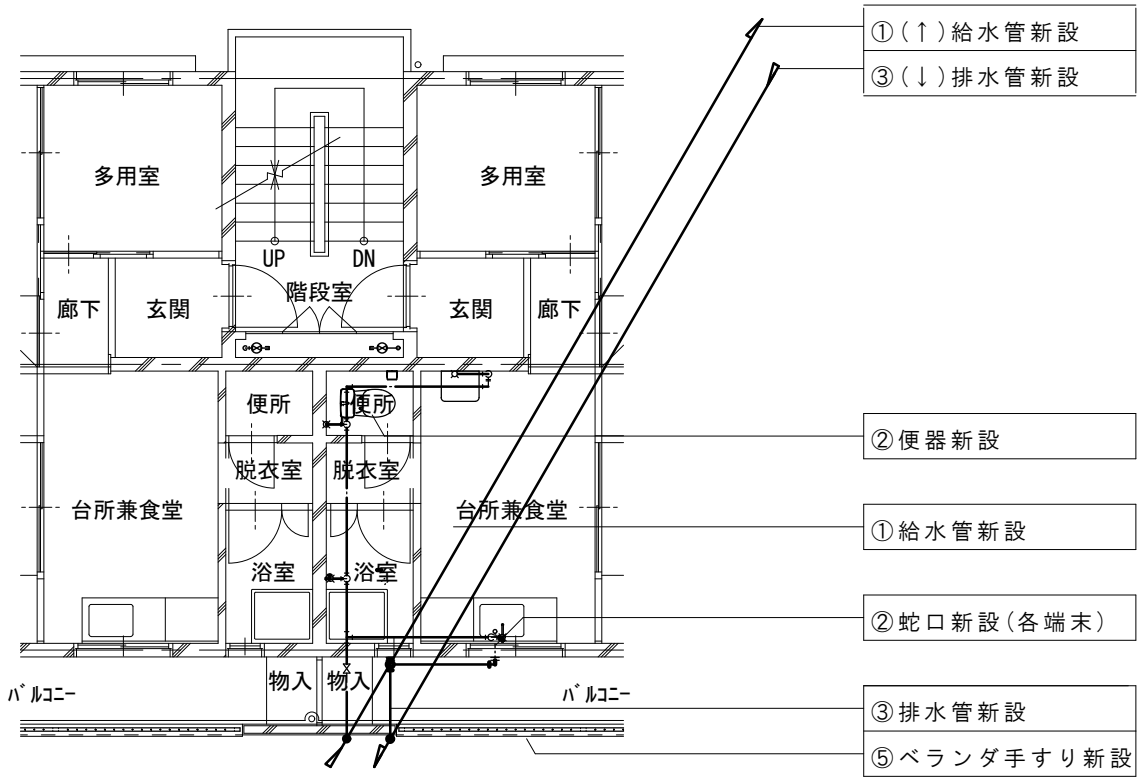
名称	有帆団地B棟
建設年	昭和48年（1973年）
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	804㎡
階数	4階
住戸構成	3DK × 16

工事概要

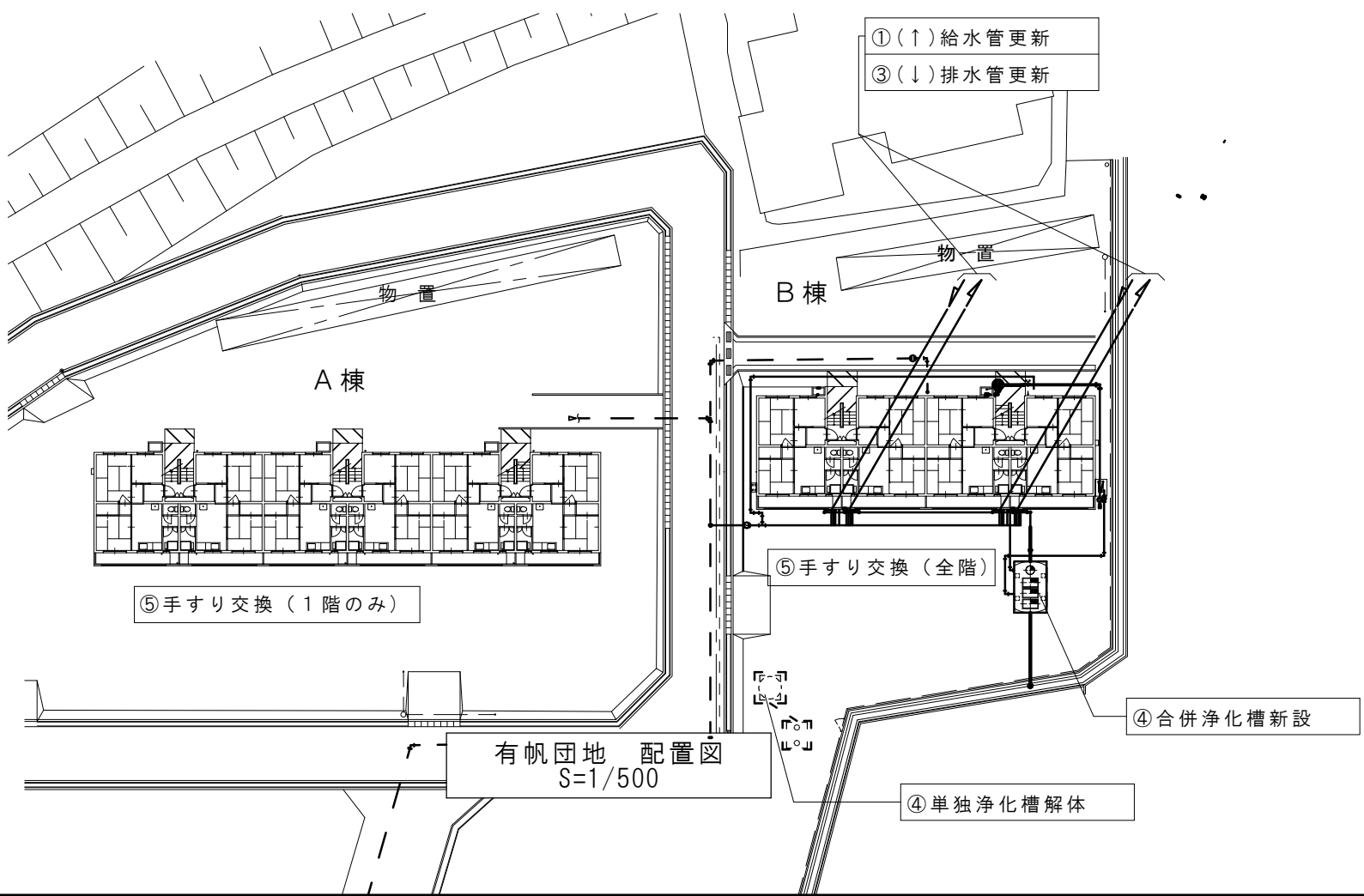
- ①給水管更新
（道路内幹線から蛇口まで）
- ②蛇口・便器交換
- ③排水管更新
- ④合併浄化槽新設・単独浄化槽解体
- ⑤ベランダ手すり交換ほか1式



有帆団地B棟 平面図(改修前)
S=1/100



有帆団地B棟 平面図(改修後)
S=1/100



有帆団地 配置図
S=1/500

市営住宅改修事業（有帆団地B棟単独浄化槽解消・給水改修工事）

・令和7年度決算額

歳出決算額		財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
手数料	193,600円	0円	0円	0円	0円	193,600円
汚泥引抜清掃委託料	1,398,100円	0円	0円	1,390,000円	0円	8,100円
工事請負費	61,248,000円	21,383,000円	0円	39,810,000円	0円	55,000円
合計	62,839,700円	21,383,000円	0円	41,200,000円	0円	256,700円

R7年度 事務事業評価シート

56

課・局・室・所(係)

建築住宅課

住宅管理係

事務事業番号

216020305

施策体系	大項目(章)			中項目(基本施策)			小項目(基本事業)		
	3	都市基盤		16	住環境の確保		2	市営住宅の適正管理	
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
	3	市営住宅長寿命化事業	5	市営住宅建替整備事業					政策的
事業概要	令和3年度策定の山陽小野田市市営住宅等長寿命化計画に基づき、耐用年数超過により安全性や設備水準が低い市営住宅の建替事業を計画的に実施し、市営住宅の安全性及び住宅の質の確保等により、現状の社会情勢や住生活を取り巻く環境に合わせた対応を図る。 なお、決算を見込んで3月議会において予算を補正した。					対象	長寿命化計画において建替え事業の対象である市営住宅		
						手段	建替え事業の実施		
						意図	市営住宅の安全性及び住宅の質の確保等により、現状の社会情勢や住生活を取り巻く環境に合わせた対応を図る。		

事業期間	R5	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R5(決算額)			R6(決算額)			R7(決算額)			R8(予算額)
支出内訳	計画策定委託料	17,600千円		設計委託料	18,392千円		工事請負費	89,452千円		工事請負費 351,900千円
	測量調査委託料	19,290千円		工事請負費	13,849千円		設計委託料	37,906千円		監理委託料 4,800千円
	工事請負費	25,850千円		市営住宅入居者移転補償金	60千円		地質調査委託料	23,782千円		設計意図伝達業務委託料 1,500千円
	市営住宅入居者移転補償金	241千円		修繕料	4,195千円		手数料	3,082千円		
	通信運搬費	484千円		通信運搬費	1,325千円		空き家具撤去等業務委託料	781千円		
	手数料	241千円		手数料	487千円		補償金	1,145千円		
	会場借上料	20千円		アスベスト調査委託料						
	合 計	63,726千円			38,308千円			156,148千円		358,200千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金	1/2	9,926千円	1/2	8,285千円		1/2	67,566千円	1/2	179,100千円
	県支出金									
	地方債			100%	8,100千円	100%		83,500千円	100%	179,100千円
	その他									
	一般財源		53,800千円		21,923千円			5,082千円		
	合 計	63,726千円		38,308千円			156,148千円		358,200千円	
人工数 人件費	0.67人	3,903千円		1.03人	6,089千円		0.80人	4,765千円		
総経費	67,629千円			44,397千円			160,913千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R5	R6	R7	R8
1	建替え事業の実施	活動	引越先改修工事等	引越先改修工事等	解体工事等	新築工事等
			完了	完了	完了	
			100.00%	100.00%	100.00%	
2						
3						

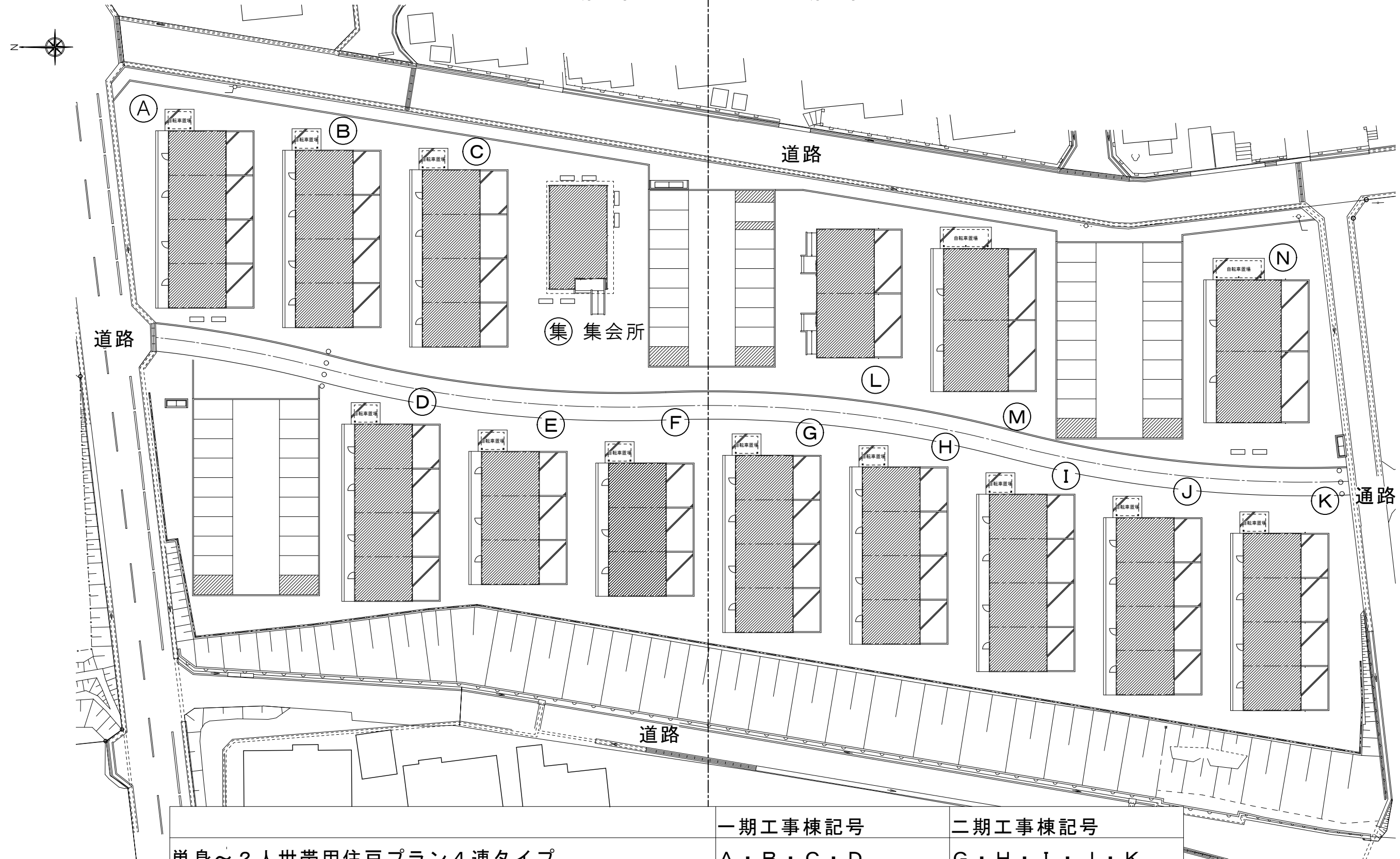
成果	叶松団地整備事業に係る設計業務等が完了したことで、次年度以降の建築工事に向けて事業が進んでいる。これにより市営住宅の安全性及び住宅の質の確保等に繋がっている。					
R9年度に向けた課題及び改善策	事業の実施に当たり、社会資本整備総合交付金を確保する必要がある。					
目標達成度	A	R9年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

叶松団地整備事業（1期解体工事）（2期解体工事）



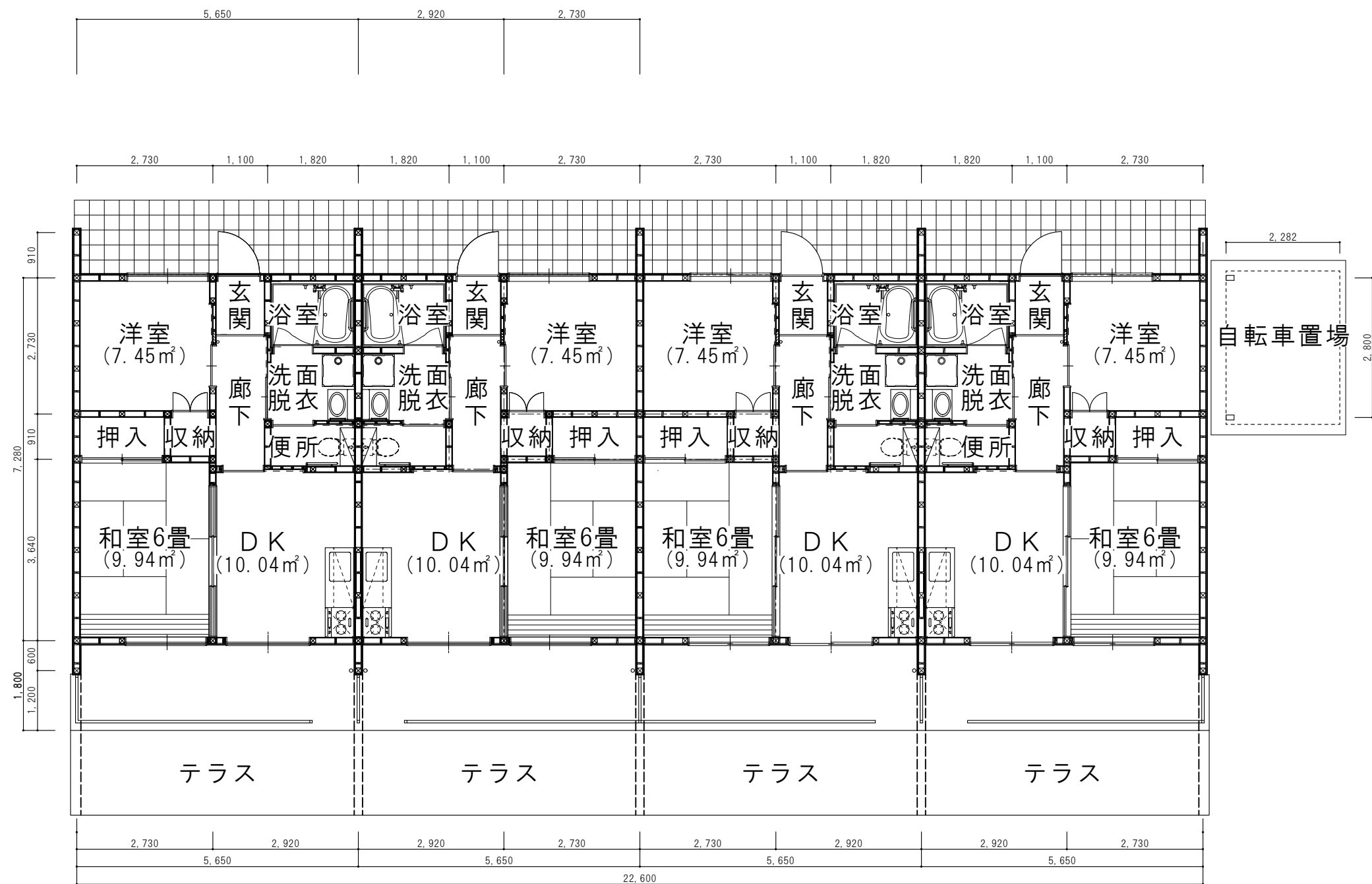
	年度 7	工事名称 叶松団地整備事業（1期解体工事） （2期解体工事）	【共通】 付近見取り図、配置図 S=1/400
	山陽小野田市		設計変更 回

1 配置図

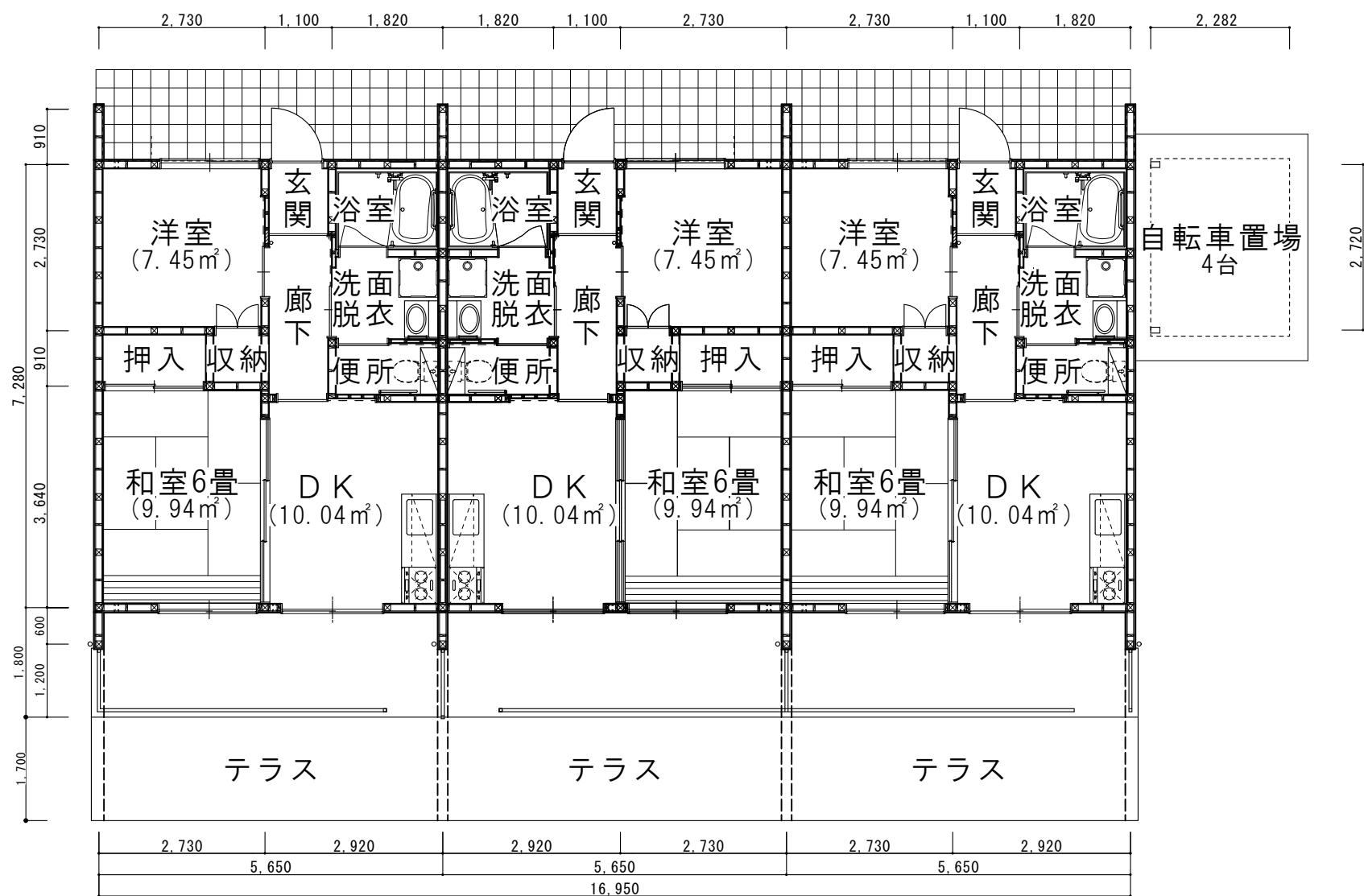


	一期工事棟記号	二期工事棟記号
単身～2人世帯用住戸プラン4連タイプ	A・B・C・D	G・H・I・J・K
単身～2人世帯用住戸プラン3連タイプ	E・F	—
車いす利用者用住戸プラン2連タイプ	—	L
3～4世帯(ファミリー向け)住戸プラン2連タイプ	—	M・N
集会所	集	—

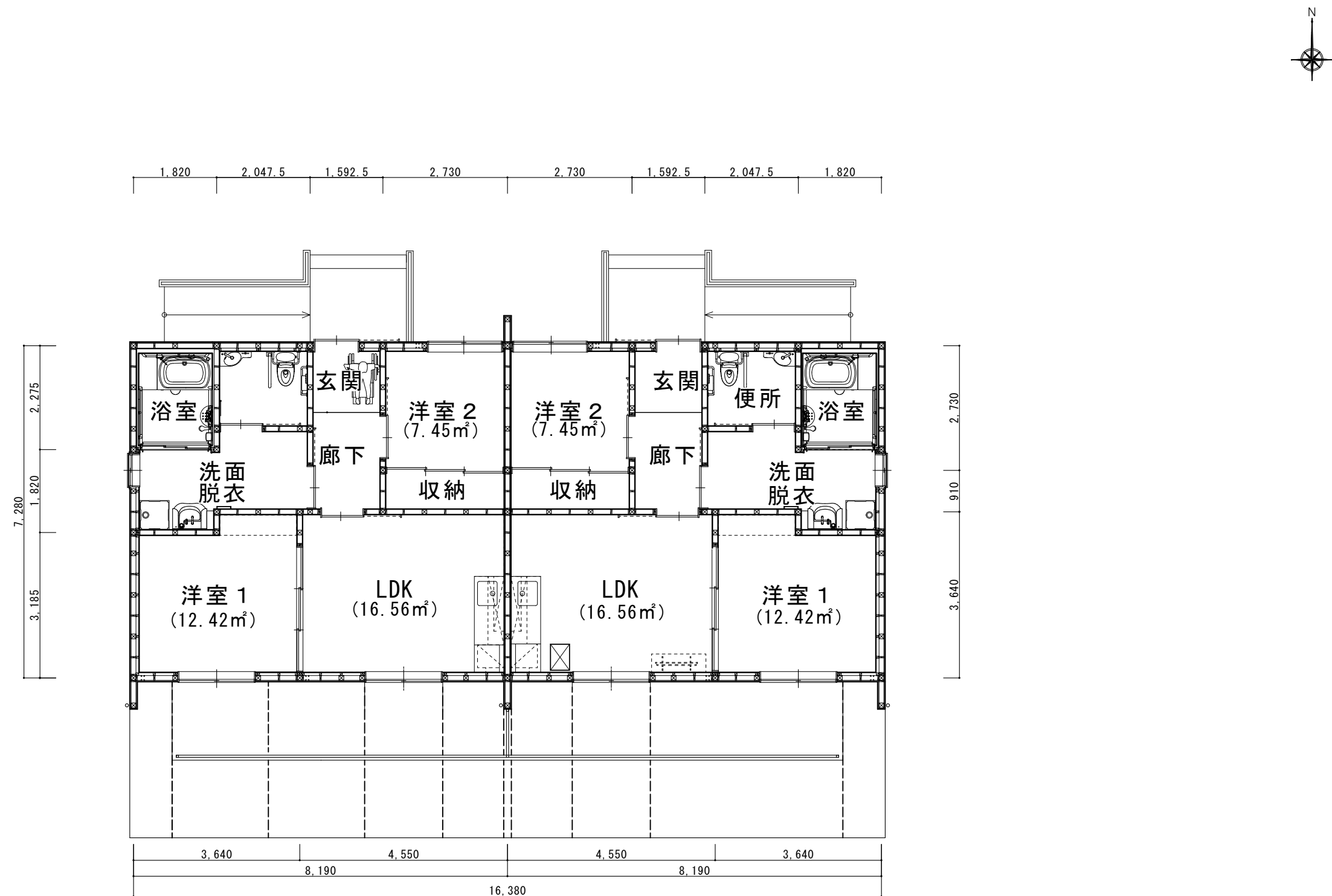
2 単身～2人世帯用住戸プラン4連タイプ 平面図



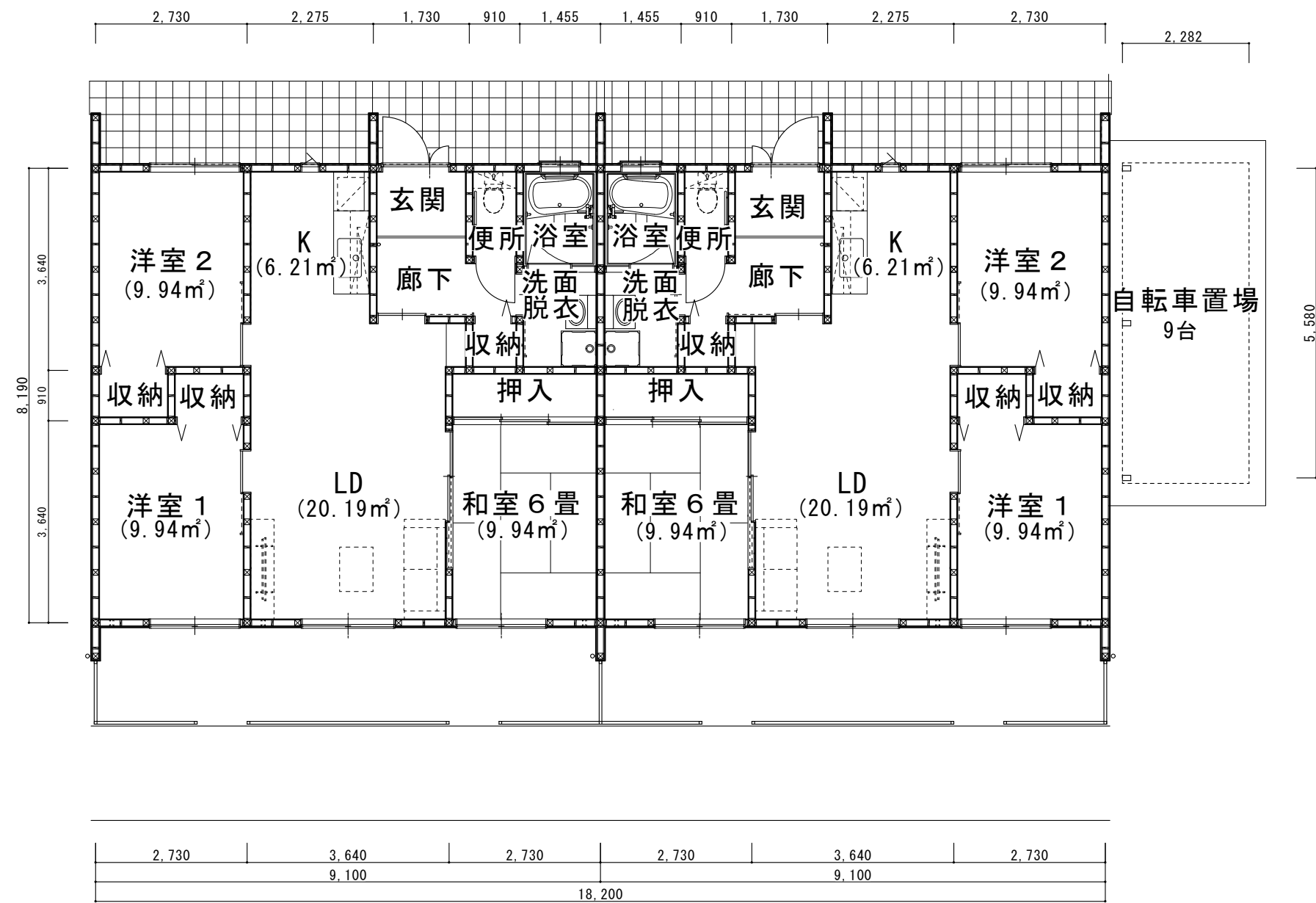
3 単身～2人世帯用住戸プラン 平面図



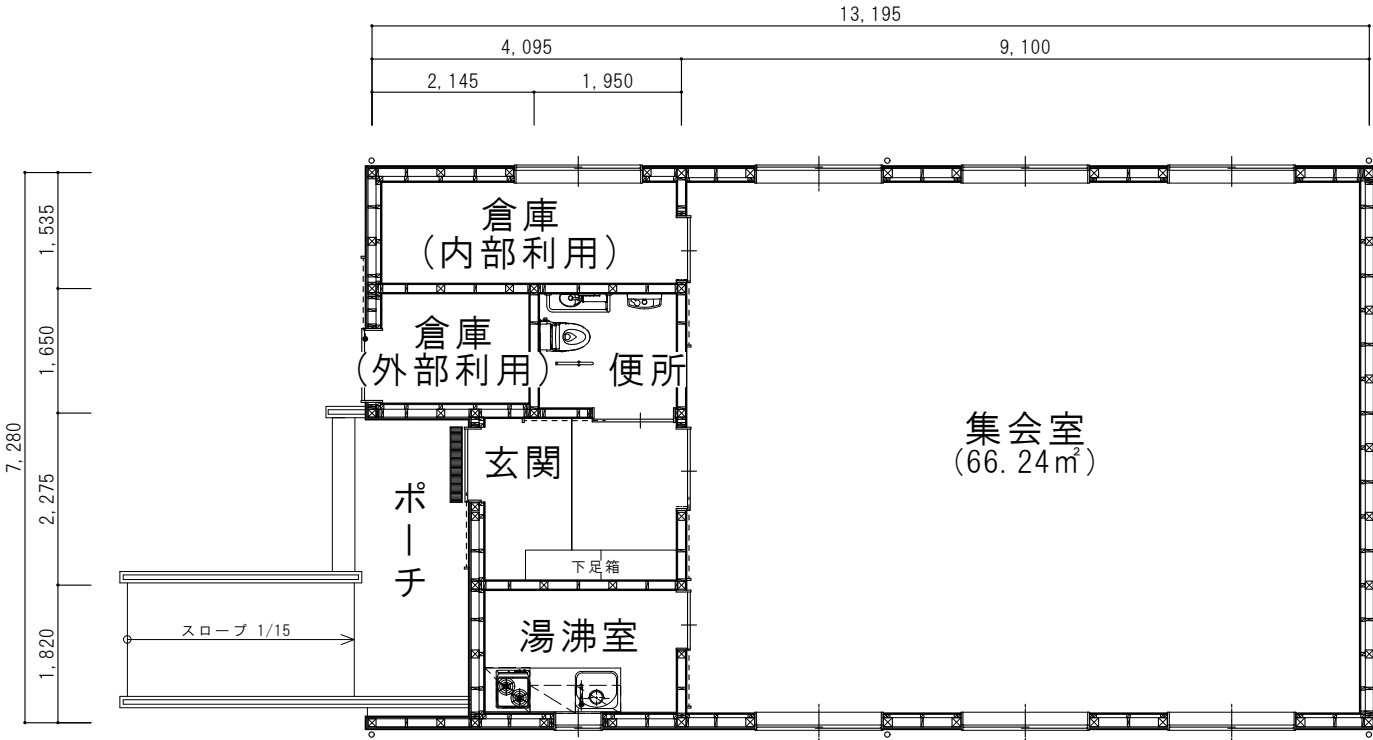
4 車いす利用者用住戸プラン2連タイプ 平面図



5 3～4世帯(ファミリー向け)住戸プラン2連タイプ 平面図



6 集会所 平面図



市営住宅建替整備事業（叶松団地整備事業）

・ 令和 7 年度決算額

歳出決算額		財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
手数料	3,082,228円	0円	0円	0円	0円	3,082,228円
地質調査委託料	23,782,000円	11,891,000円	0円	11,850,000円	0円	41,000円
設計委託料	37,906,000円	18,953,000円	0円	18,950,000円	0円	3,000円
空き家家具撤去等業務委託料	781,000円	0円	0円	0円	0円	781,000円
工事請負費	89,452,000円	36,722,000円	0円	52,700,000円	0円	30,000円
補償金	1,145,211円	0円	0円	0円	0円	1,145,211円
合計	156,148,439円	67,566,000円	0円	83,500,000円	0円	5,082,439円